

SynchRoid10.7.0.4

新機能について

- 1. 新機能等について**
2. 旧バージョンからの変更点について
3. 既知の事象について

大分類	項目（機能）	内容
新機能	Easy Upgrade	ロボットの新しいバージョンへの移行を容易にする、「Easy Upgrade」という機能が追加されました。
新機能	ロボットファイルシステム	ロボットが取り扱うフォルダやファイルへのアクセス権を、任意のファイルサーバ上のフォルダやローカルフォルダ内にMC/RS, DS, DASに限定して付与できるようにする機能です。
機能改善	SAML認証	MCにログインする際の認証方式に、SAML認証が追加されました。
機能改善	KTAとの統合	KTA（Kofax Total Agility）のジョブを開始するステップをロボットに挿入することにより、ロボットからKTAプロセスを起動できるようになりました。
機能改善	DAステップの追加	Start KTA Process（KTAプロセスの開始）ステップ、Disconnect From Device（デバイスからの切断）ステップ、Write Log（ログ出力）ステップが追加されました。
機能改善	ウィジェットツリーの向上	ウィジェットツリーがXML標準により準拠するようになりました。
機能改善	Excelの共有数式を可能にするスニペット	Excelファイルの共有数式を変換するスニペットを、「convert Shared Formulas」という名前でリリースしました。
機能改善	ロボットファイルシステムの機能向上	ロボットファイルシステムサーバをFTPおよびSFTP（SSH File Transfer Protocol）で構築できるようになりました。
機能改善	ロボット実行ログの改善	MCの「クラスタ設定」にてプロファイリングを有効化した際に作成されるロボット実行ログに記録される情報が、より詳しくなりました。
機能改善	DASイベントログの改善	DASの稼働状況をMC画面から確認でき、ログを閲覧するためにわざわざDAS端末にアクセスする必要がなくなりました。
機能改善	MC設定改善	MCの設定情報やMC画面を構成するJSPファイル等を格納しているWARファイルに対し、コマンドラインベースでその設定情報を抽出したり、反対に設定を書き換えたりできるようになりました。

大分類	項目（機能）	内容
機能改善	DAの変数変換機能の強化	DAのコンポーネントから抽出したデータやユーザーの入力データを、DAエディタ内で変換する機能が強化されました。
機能改善	フォーム入力項目から入力値取得	DAにおける組み込みブラウザを使用することで、フォームの入力項目の入力値を変数に抽出できるようになりました。
機能改善	DA内ステップへのコメント作成機能	DA（Desktop Automation）内のアクションステップやグループステップに対し、コメントを残せるようになりました。
機能改善	ロボットファイルへのタグ付け機能	ロボットファイルに、そのロボットの用途等を説明するタグを付与できるようになりました。
機能改善	ファインダーの性能向上	DAにおける組み込みブラウザ、Excel、一般的なデスクトップアプリ、およびDTSによるドキュメント操作において、ファインダーの精度が向上しました。
操作性改善	DASのUI変更	DAS画面からターミナル接続ドライバーのチェックボックスが無くなり、画面がシンプルになりました。
操作性改善	DAのオブジェクトツリーのコピー機能	DAエディタのツリービューから、オブジェクトツリー上の要素をコピーできるようになりました。
操作性改善	DASのUI向上	DAS画面が日本語になりました。Java Access Bridgeインストール状態の確認、およびJava Access Bridgeを有効化する作業が、DAS画面でのマウス操作で実現できるようになりました。
操作性改善	DAエディタの操作性向上	DAエディタの操作性が向上しました。
操作性改善	DSのUI向上	DSを構成するウィンドウを自由に動かせるようになりました。「マイプロジェクト」「シェアプロジェクト」「データベース」の3つのウィンドウが、新たに1つの「マイプロジェクト」ウィンドウとして統合されました。

- MCにログインする際の認証方式に、SAML認証が追加されました。
- 予めonelogin等のIdentity Provider (IdP) にMC認証用のアカウントを作成し、そのIdPにMCとの連携情報 (MCのURL等) を登録しておく必要があります。
- この設定を事前に行うことで、IdPへログインすると直ちにMC画面に遷移し、MCが利用できるようになります。



onelogin

ユーザー名
t.katagiri@bizrobo.com あなたではないのですか?

パスワード
.....

続行する

パスワードを忘れました



KOFAX RPA Management Console
バージョン 10.7.0.0

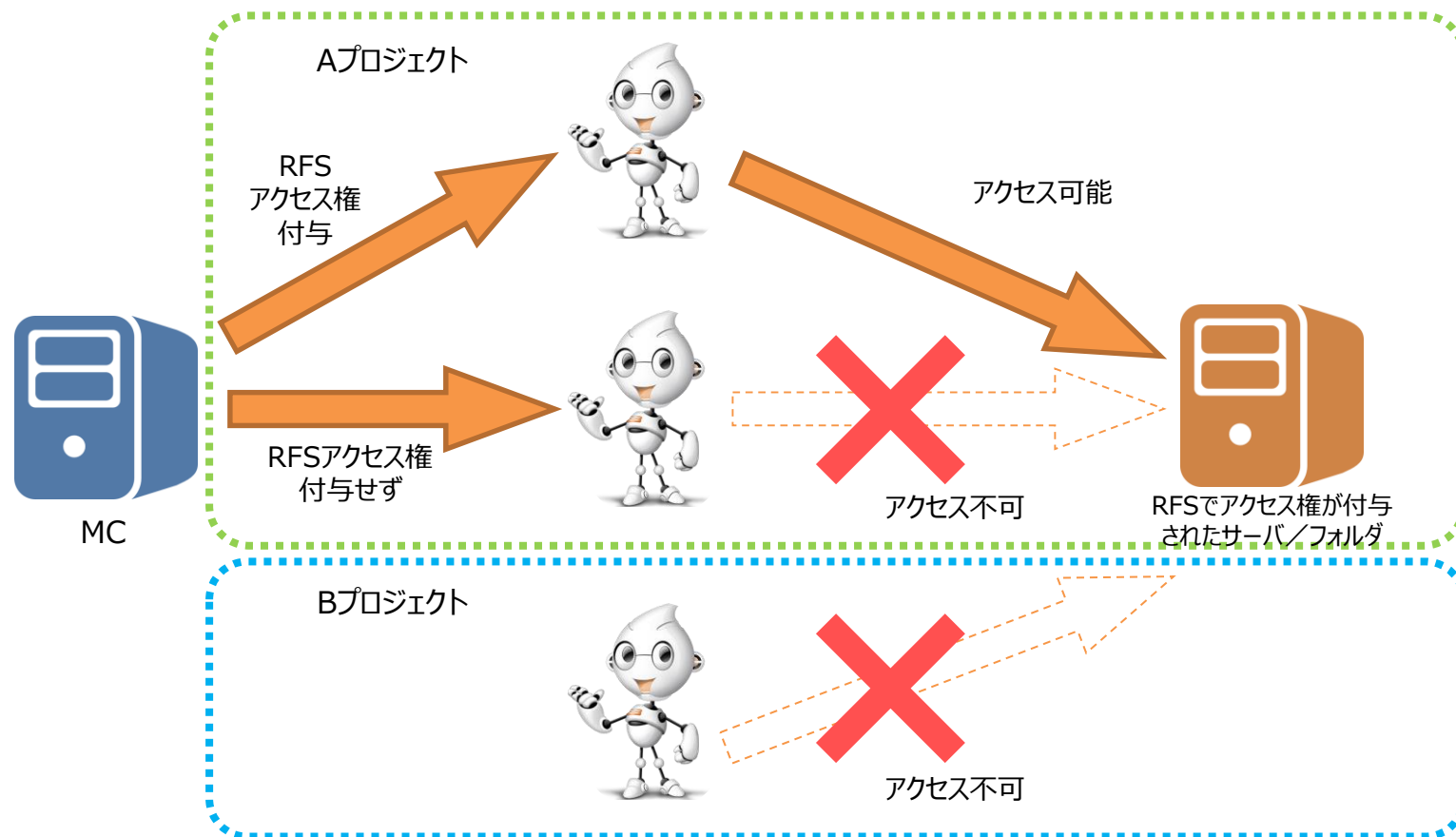
サーバー時間: 09:51 | ローカル時間: 09:51 | 以下としてログイン: t.katagiri@bizrobo.com

Kaplet スケジュール **リポジトリ** データビュー ログビュー 管理

リポジトリ > ロボット

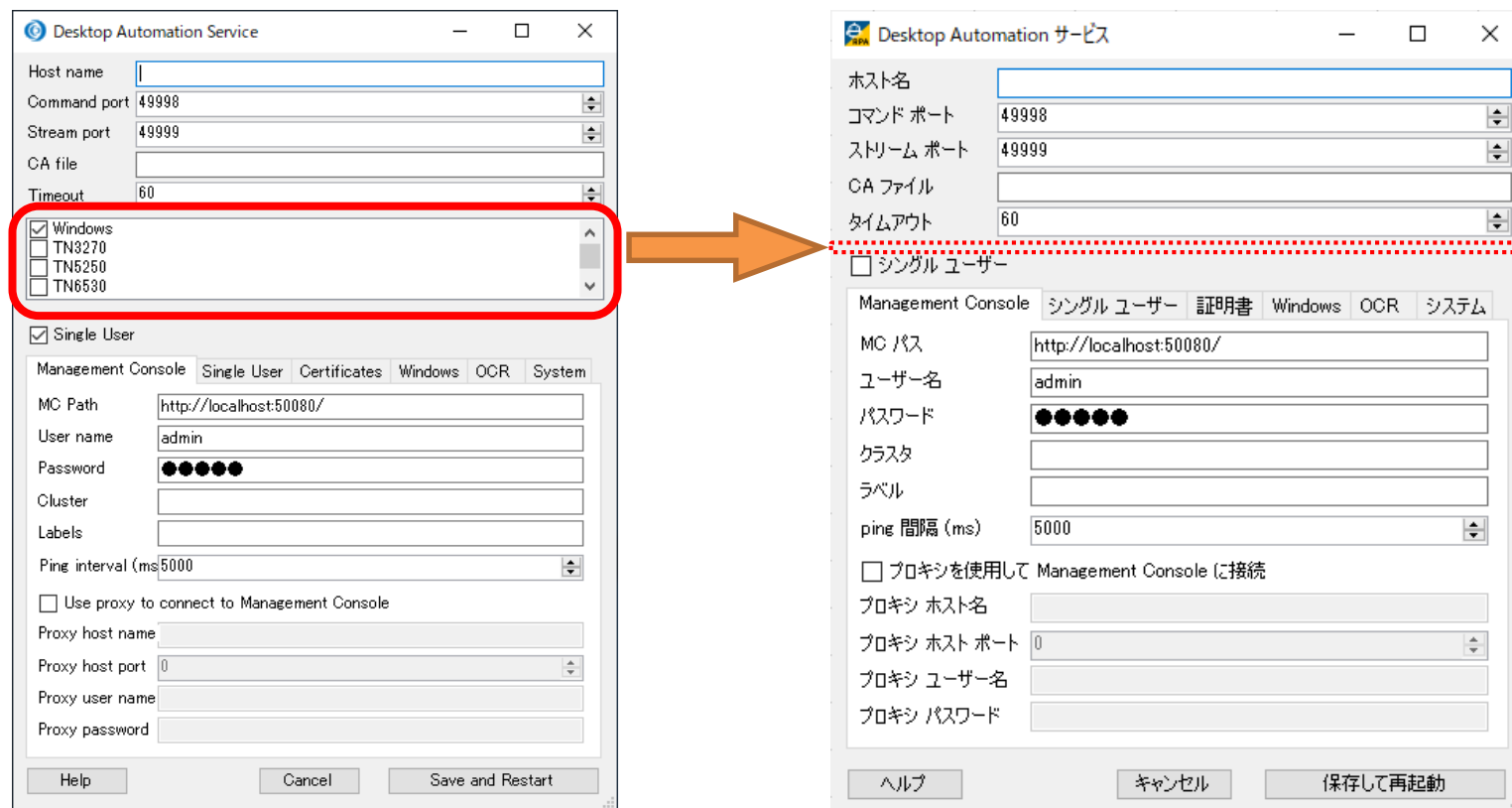
名前	プロジェクト名	Tags	バージョン	サイズ	スケジュール	削除	ラベル	マッピング	作成者	変更者	コミットメッセージ	リビジョン番号	最終変更日	すぐに実行
日本語アップロードテスト	Default project		10.7.0.0	3.21 KB	0	🗑️	0		admin	admin	日本語アップロードテスト	local	2019-08-29 12:05:30	👉
新しいロボット2	Default project		10.7.0.0	3.02 KB	0	🗑️	0		admin	admin	新しいプロジェクト123の...	local	2019-09-04 17:35:19	👉
新しいロボット1	Default project		10.7.0.0	2.81 KB	0	🗑️	0		admin	admin	新しいプロジェクト123の...	local	2019-09-04 17:35:19	👉
Robots/shimizuPractice/Li...	yahoofinance	Default project	10.1.0.1	19.70 KB	0	🗑️	0		admin	admin		local	2019-08-29 11:13:17	👉
Robots	yahoofinance	Default project	10.7.0.0	20.00 KB	0	🗑️	[アフファイナンス]	🖼️	admin	admin		local	2019-08-29 10:58:52	👉
Robots	writegajiji	Default project	10.1.0.2	13.95 KB	0	🗑️	0		admin	admin		local	2019-08-29 11:13:13	👉
Robots	wait60sec	Default project	10.1.0.2	4.64 KB	0	🗑️	0		admin	admin		local	2019-08-29 11:13:11	👉
Robots/checkmaxslot	wait10secdeletetstep	Default project	10.1.0.2	8.37 KB	0	🗑️	0		admin	admin		local	2019-08-29 11:13:16	👉
Robots/checkmaxslot	wait10secExclusionControl	Default project	10.1.0.2	11.36 KB	0	🗑️	0		admin	admin		local	2019-08-29 11:13:10	👉
Robots/checkmaxslot	wait10minC	Default project	10.1.0.2	4.31 KB	0	🗑️	0		admin	admin		local	2019-08-29 11:13:15	👉
Robots/checkmaxslot	wait10minB	Default project	10.1.0.2	4.31 KB	0	🗑️	0		admin	admin		local	2019-08-29 11:13:14	👉

- ロボットファイルシステムは、ロボットが取り扱うフォルダやファイルへのアクセス権を、任意のファイルサーバ上のフォルダやローカルフォルダ内にMC/RS, DS, DASに限定して付与できるようにする機能です。
- この機能により、ロボットが取り扱うフォルダやファイルへのアクセス権をロボット単位に設定することができるようになり、お客様のロボット運用環境のセキュリティが向上します。
- 尚、ロボットファイルシステムを利用するには、MCをTomcat上に構築する必要があります。



※RFS = Robot File System

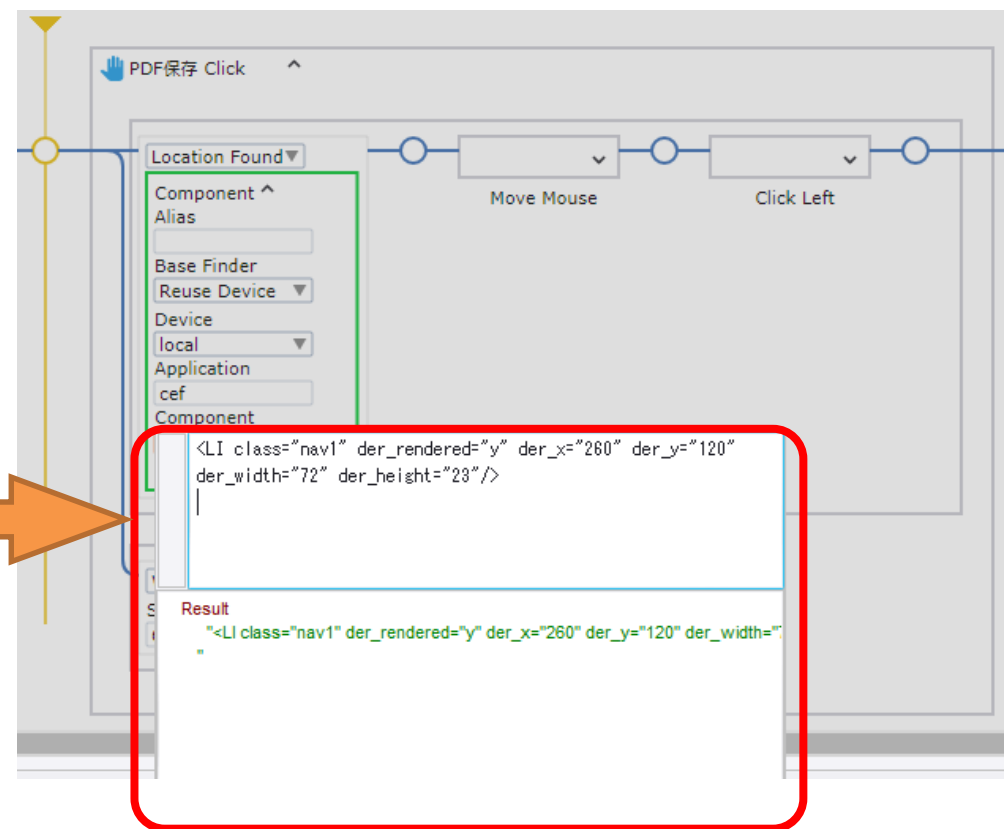
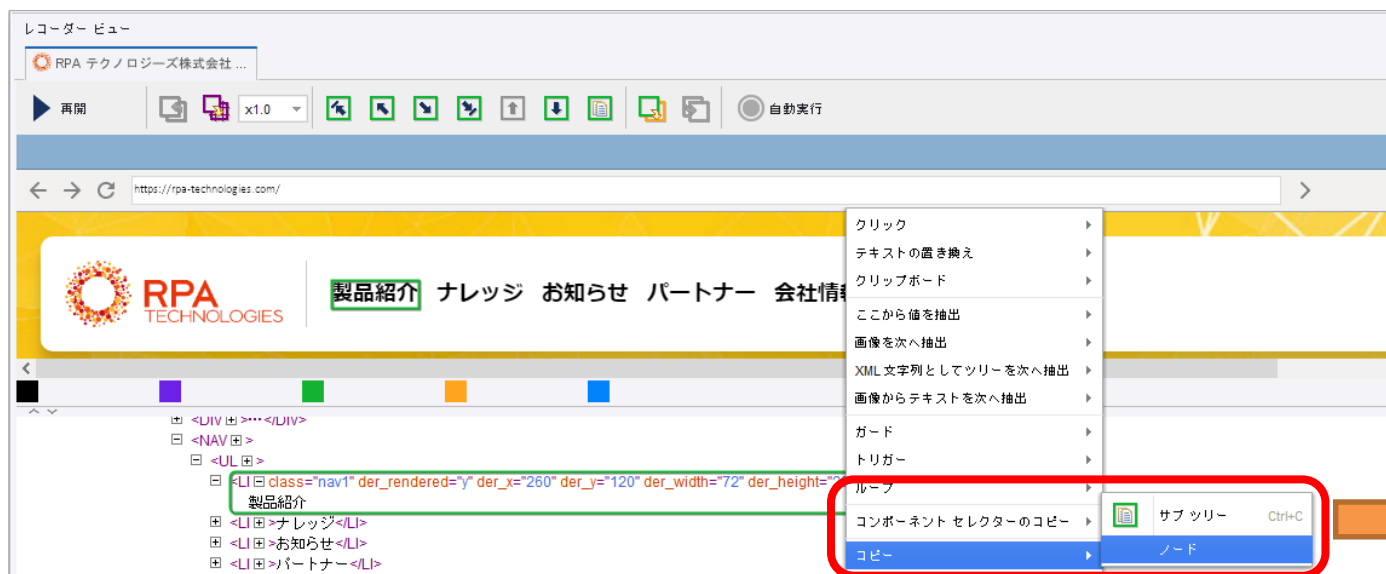
- DAS画面からターミナル接続ドライバーのチェックボックスが無くなり、画面がシンプルになりました。
- この理由は、ターミナルアクセスはChromiumやBuilt-in Excel等と同様にDAエディタ内でエミュレートが可能のため、DAS画面の設定項目として必要なくなったためです。



- KTA (Kofax Total Agility) のジョブを開始するステップをロボットに挿入することにより、ロボットからKTAプロセスを起動できるようになりました。
(※Kofax Total Agility : 情報集約型機能向けの、スマートプロセスアプリケーションを開発するためのプラットフォーム)

The image displays a software interface for configuring and editing automation workflows. On the left, a sidebar menu shows various system settings, with 'KTA 設定' (KTA Settings) highlighted. The main panel shows the configuration for 'Kofax TotalAgility', including fields for 'KTA インストール名' (KTA Installation Name), 'URL', 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). A red box highlights these fields. In the center, a workflow editor shows a list of steps, with 'Start KTA Process ステップ' (Start KTA Process Step) highlighted in red. An orange arrow points from this step to a detailed configuration window on the right, which shows fields for 'KTA Installation Name', 'Category', 'Process', and 'Initialization Data'. A blue callout box at the bottom states: 'DAのステップに、「Start KTA Process」ステップが追加されます。' (The 'Start KTA Process' step is added to the DA step.)

- DAエディタのツリービューから、オブジェクトツリー上の要素をコピーできるようになりました。
- このコピーしたツリー情報をDAのファインダーのComponentにペーストすることで、DAの開発作業が容易になります。



- 以下の3機能が、DAのステップに追加されました。

① Start KTA Process (KTAプロセスの開始) ステップ

Kofax Total Agility (KTA) の新規プロセスを起動します。本ステップではプロセス実行の完了を待機せず、結果のジョブIDを変数に割り当てて、実行結果の監視を可能にします。「2-3. KTAとの統合」も参照ください。

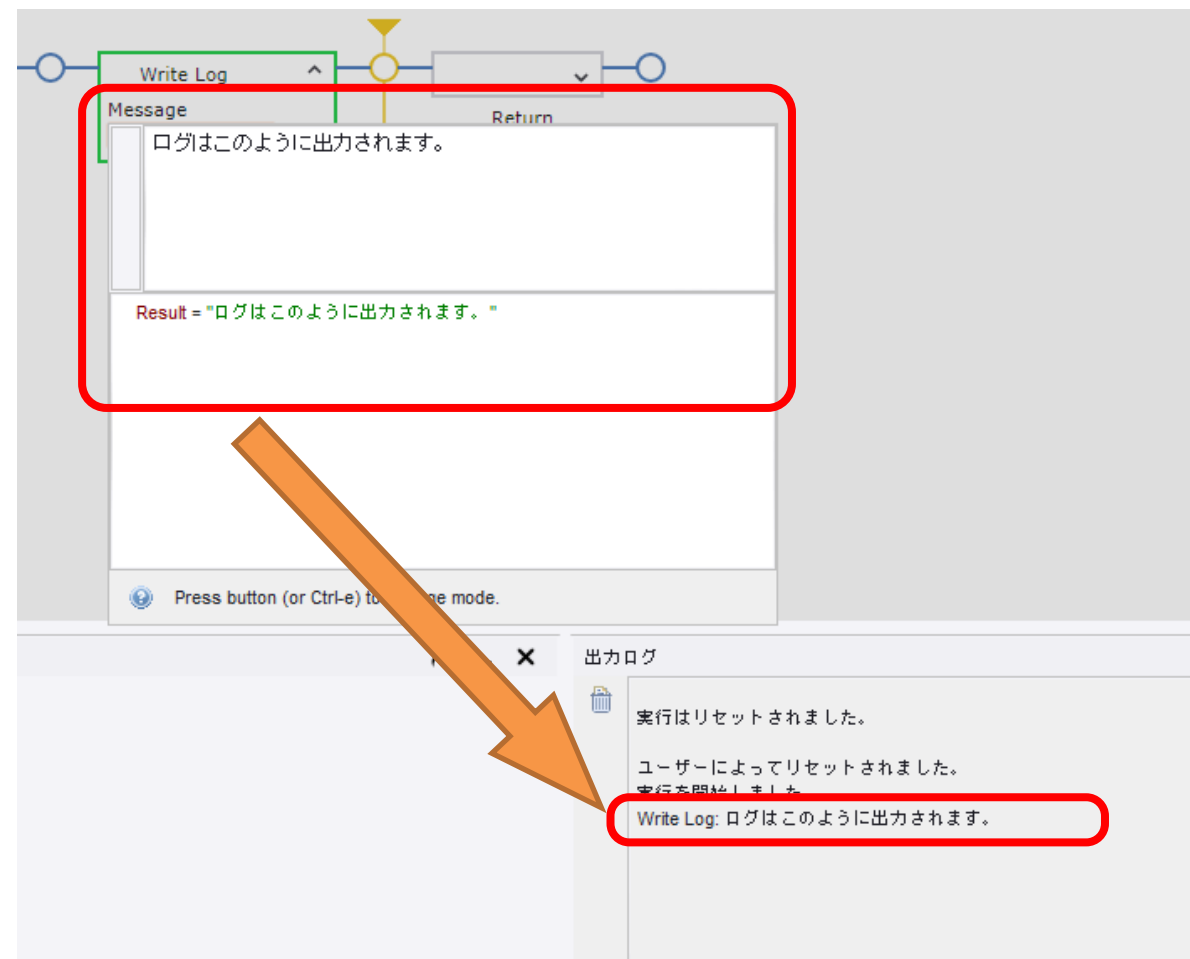
② Disconnect From Device (デバイスからの切断) ステップ

Connect To Device (デバイスへの接続) ステップで接続したリモートデバイスから切断します。

③ Write Log (ログ出力) ステップ

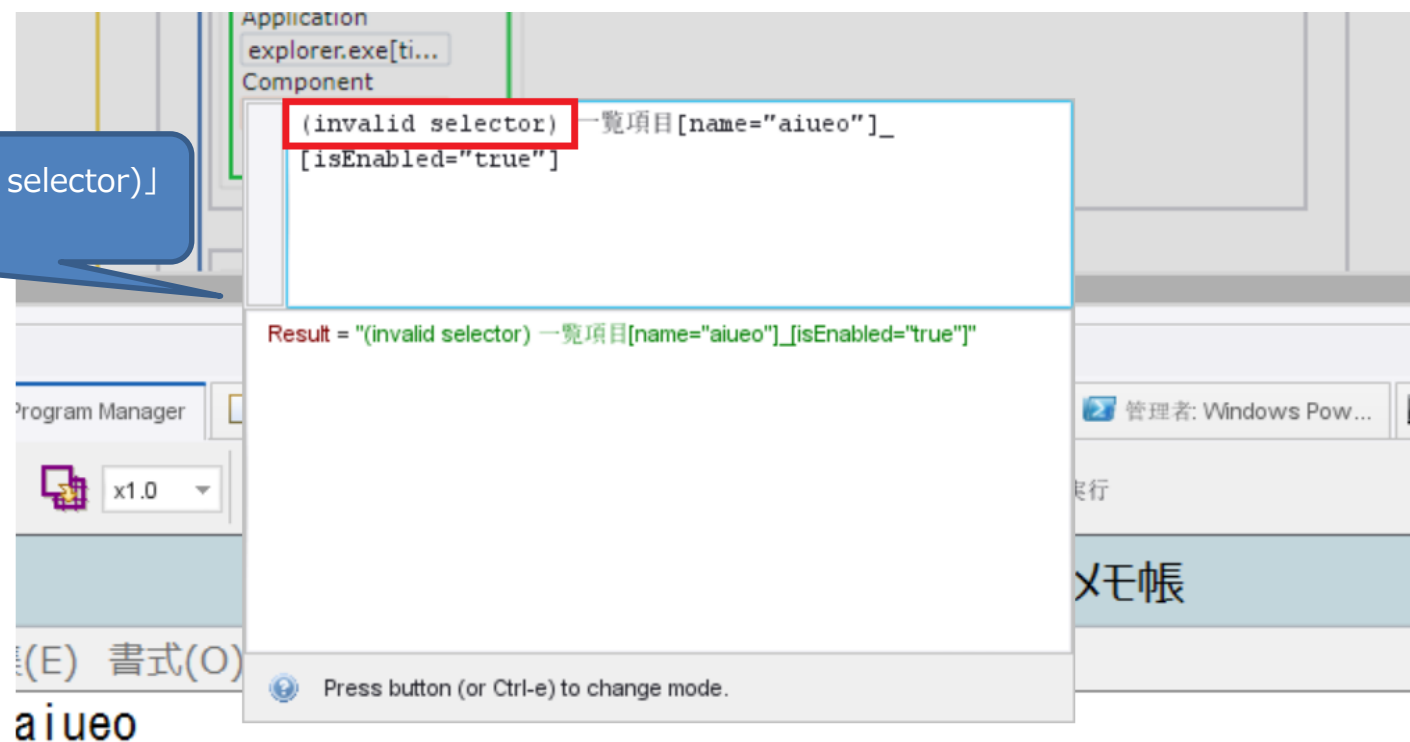
ログを出力します。
出力されたログは、DAエディタの「出力ログ」ウィンドウ、DSのデバッグモードにおける「ログ」タブ、およびMCの「ログビュー > ロボットメッセージ」タブに表示されます。

Write Log ステップ



- ウィジェットツリーがXML標準により準拠するようになりました。この改善により、例えば無効な文字はアンダースコアに置き換えられます。
- 以前のバージョンで作成されたロボットのファインダーに無効な要素名が検出された場合、それを自動的に「無害化」してロボットを読み込むため、そのロボットが不具合を引き起こす心配がありません。

不正な要素名が検出された場合、「(invalid selector)」という文字列に自動的に置き換わります。



- Kofax RPAではExcelの共有数式（セルのコピーに伴い自動的にコピーされる数式）の機能をサポートしません。今回、そのようなExcelファイルの共有数式を変換するスニペットを、「convertSharedFormulas」という名前でリリースしました。
- このスニペットは、検査対象のExcelファイルの全セルをループし、数式を検出したセルについて、その数式の「=」を除去して再びセルに入力します。
- 共有数式を使用するExcelファイルを、このスニペットでクレンジングすることにより、このExcelファイルをロボットが扱うことによる予期せぬエラーを未然に防ぐことができます。

The screenshot displays the RPA development environment. At the top, a project tree shows the 'convertSharedFormulas.snippet' file highlighted with a red box. An orange arrow points from this box to the workflow diagram below. The workflow, titled 'Excel共有数式確認', consists of the following steps: 'Open Excel', 'Loop Sheets', 'Loop Cells', 'Test Cell Type', 'Extract Formula', and 'Set Value of Cell'. Below the workflow, the 'Applications' pane shows an open Excel application. The spreadsheet contains a table of squares from 1 to 10. Cell H2 (row 2, column 8) contains the formula '=H1^2'. A blue callout box points to this cell with the text: '例：H2セルには「=H1^2」（H1セルの値を2乗する）という数式が記入されていましたが、それを「H1^2」に変換・更新します。'. The 'Variables' pane on the right shows the 'formula' variable containing the text 'H1^2', which is also circled in red.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	sheet	2	3	4	5	6	7	8	10
2		4	9	16	25	36	49	64	81
3		16	81	256	625	1296	2401	4096	6561
4									
5									
6		2	3	4	5	6	7	8	10

- ロボットの新しいバージョンへの移行を容易にする、「Easy Upgrade」という機能が追加されました。
- Easy Upgrade は以下の2つの機能から構成されます。
 - ① マルチバージョンクラスタ
 - ② DASエンジンの自動更新

① マルチバージョンクラスタ

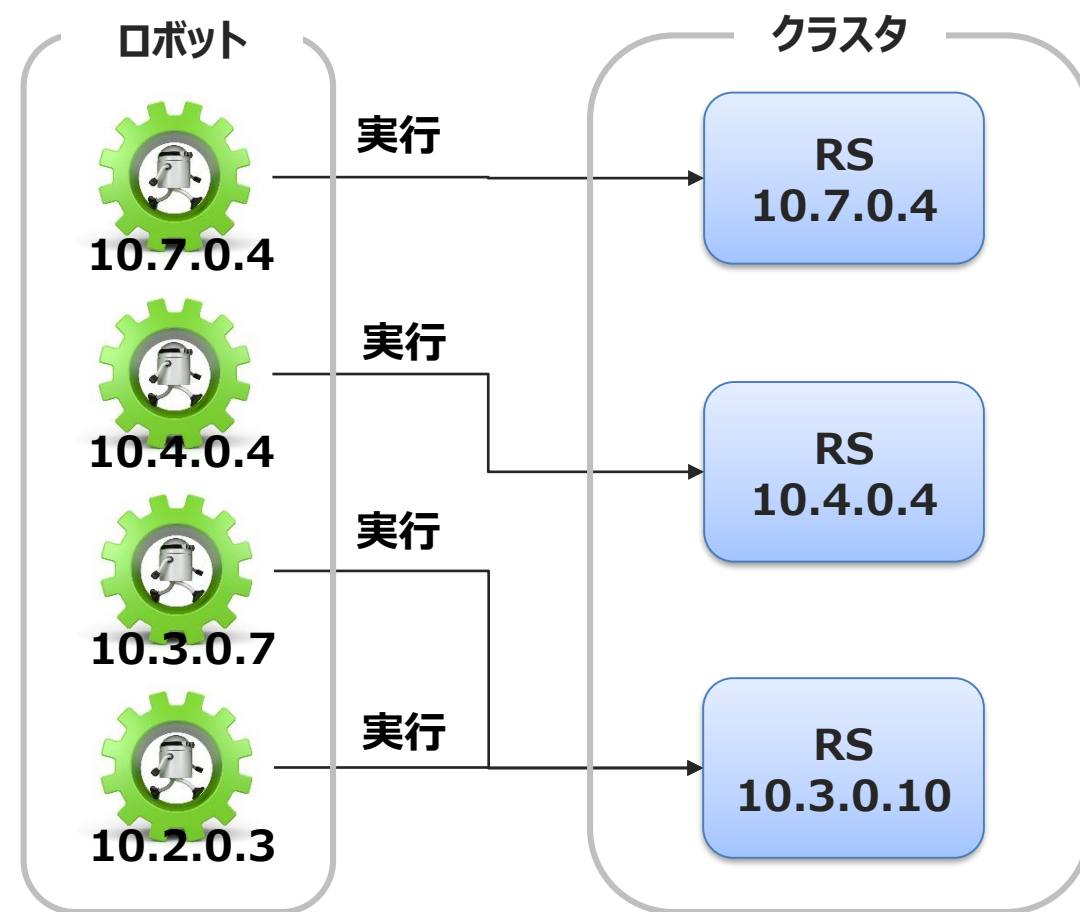
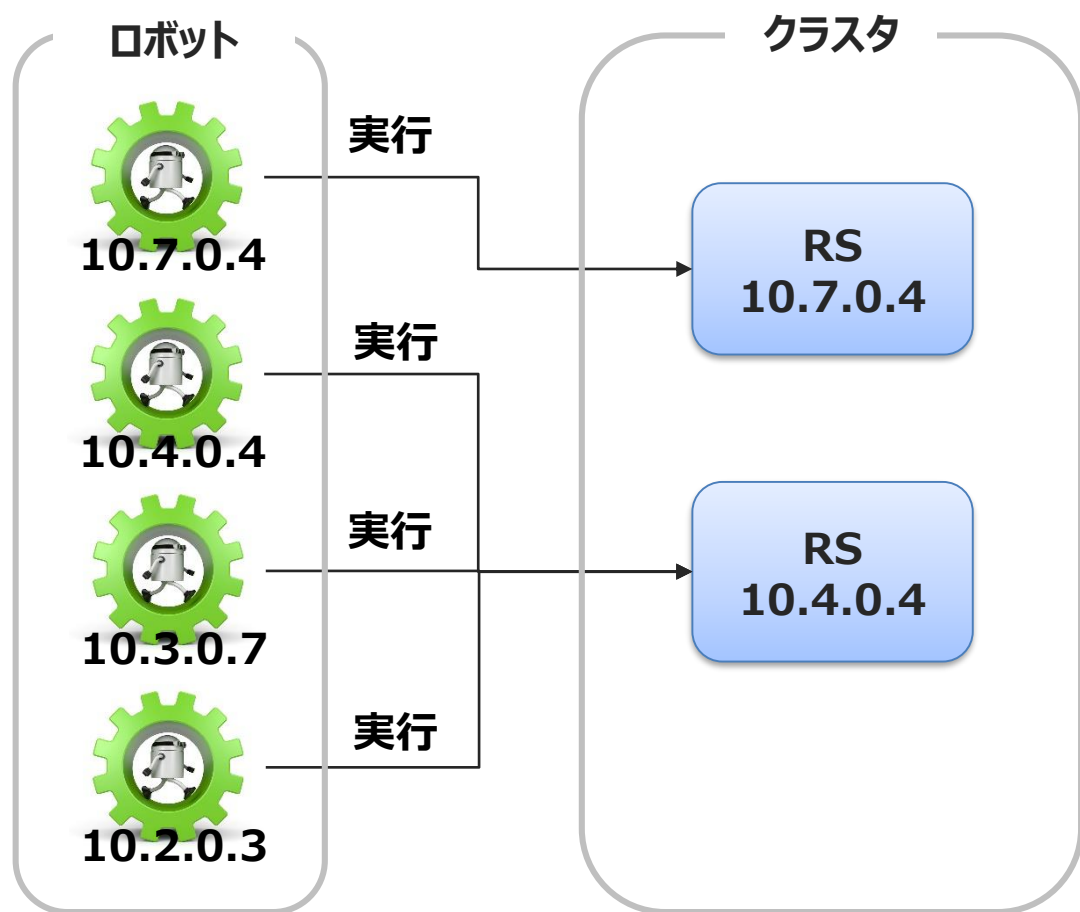
- 一つのクラスタに異なるバージョンのロボサーバを複数紐づけることができるようになりました。
- 古いバージョンで作成されたロボットは、そのロボットに最も近い、利用可能なバージョンのロボサーバで実行されます。
(右表参照)

クラスタに存在するロボットと、それを実行するロボサーバの対応表

ロボット \ ロボサーバ	Ver 10.2.0.5	Ver 10.3.0.7	Ver 10.7.0.1
Ver 10.2.0.3	実行		
Ver 10.3.0.2		実行	
Ver 10.3.0.7		実行	
Ver 10.4.0.4			実行
Ver 10.7.0.1			実行

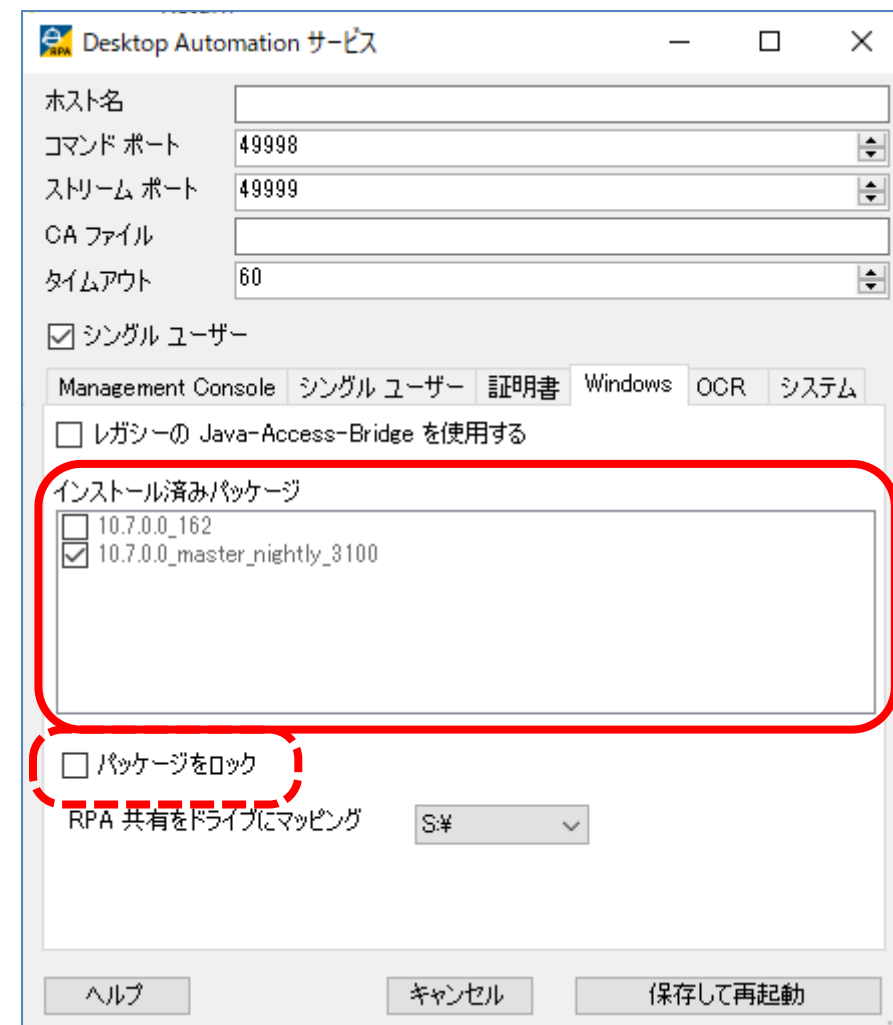
【参考】マルチバージョンクラスタの構成とロボットの実行環境例

- ロボットは作成されたバージョンに最も近い上位のRSで実行される。
- クラスタに割り当てられたKCUは各RSで均等に割り振られる。



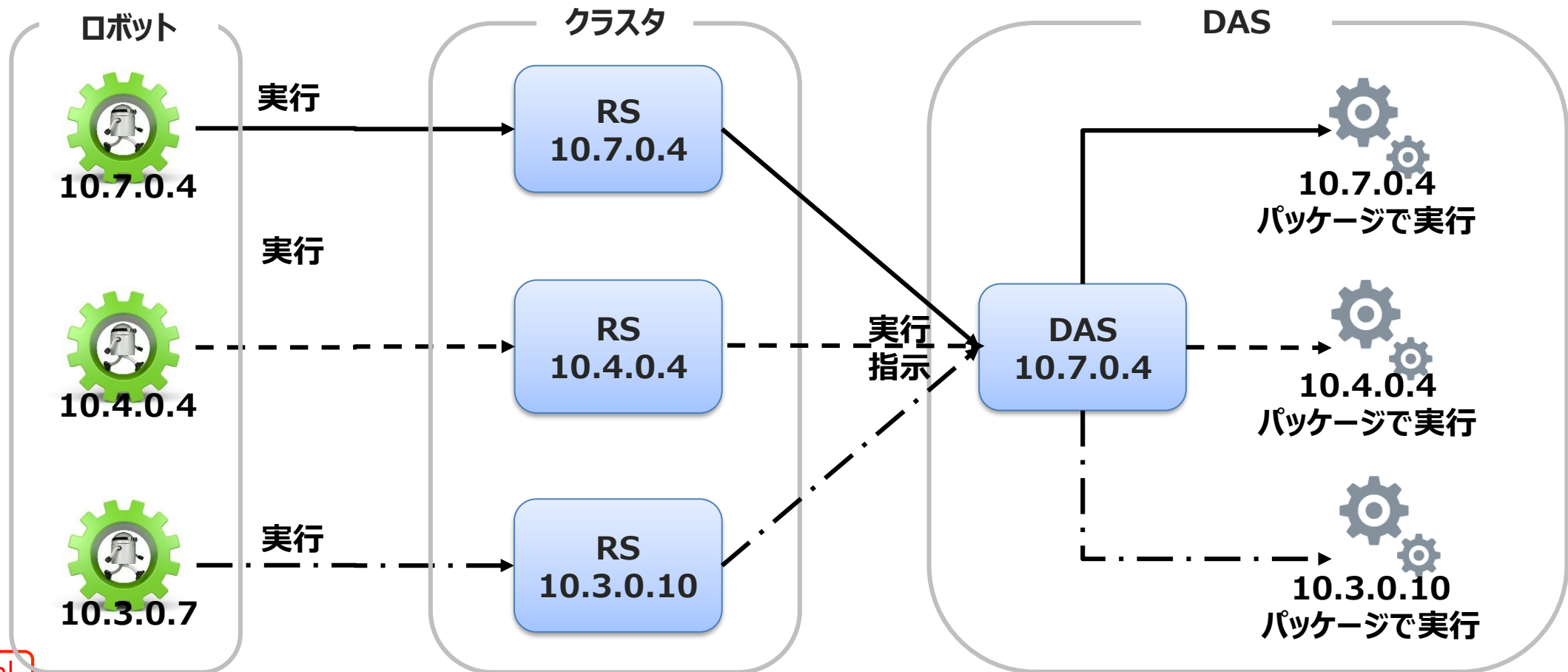
②DASエンジンの自動更新

- ロボットをDAで実行する場合、実行されるロボットのバージョンに見合うエンジン（インストールしたDASよりも下位バージョンのエンジン）をDASがMCから自動的にダウンロードすることで、異なるバージョンのロボットを一つのDASで実行できるようになりました。
- この機能により、複数バージョンにわたるロボットを同時に運用する場合、そのバージョン分のDASをDA端末毎に複数インストールする必要がなくなります。
- ダウンロードされたエンジンはDAS画面にて確認できます。
- 「パッケージをロック」にチェックを入れることで、本機能を抑止することもできます。



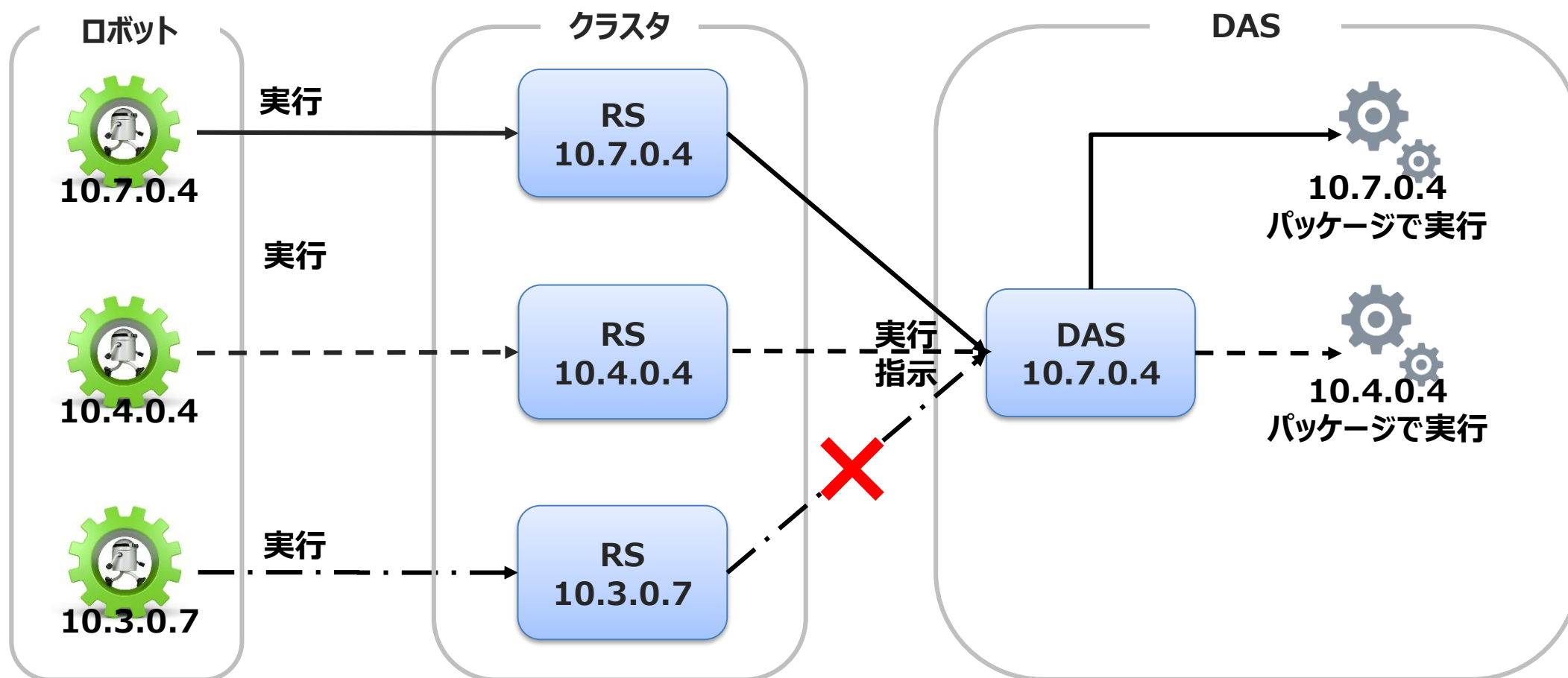
【参考】DAS Easy Upgradeの実行環境例

- 10.7.0.4のDASをインストールしておくことで、10.4および10.3のDASとしても実行することができる。
- DASで実行するパッケージのバージョンはロボットが実行されるRSのバージョンによって決定します。
- DAS Easy Upgradeに対応している下位バージョンは、10.3.0.9、10.3.0.10および10.4.0.4です。

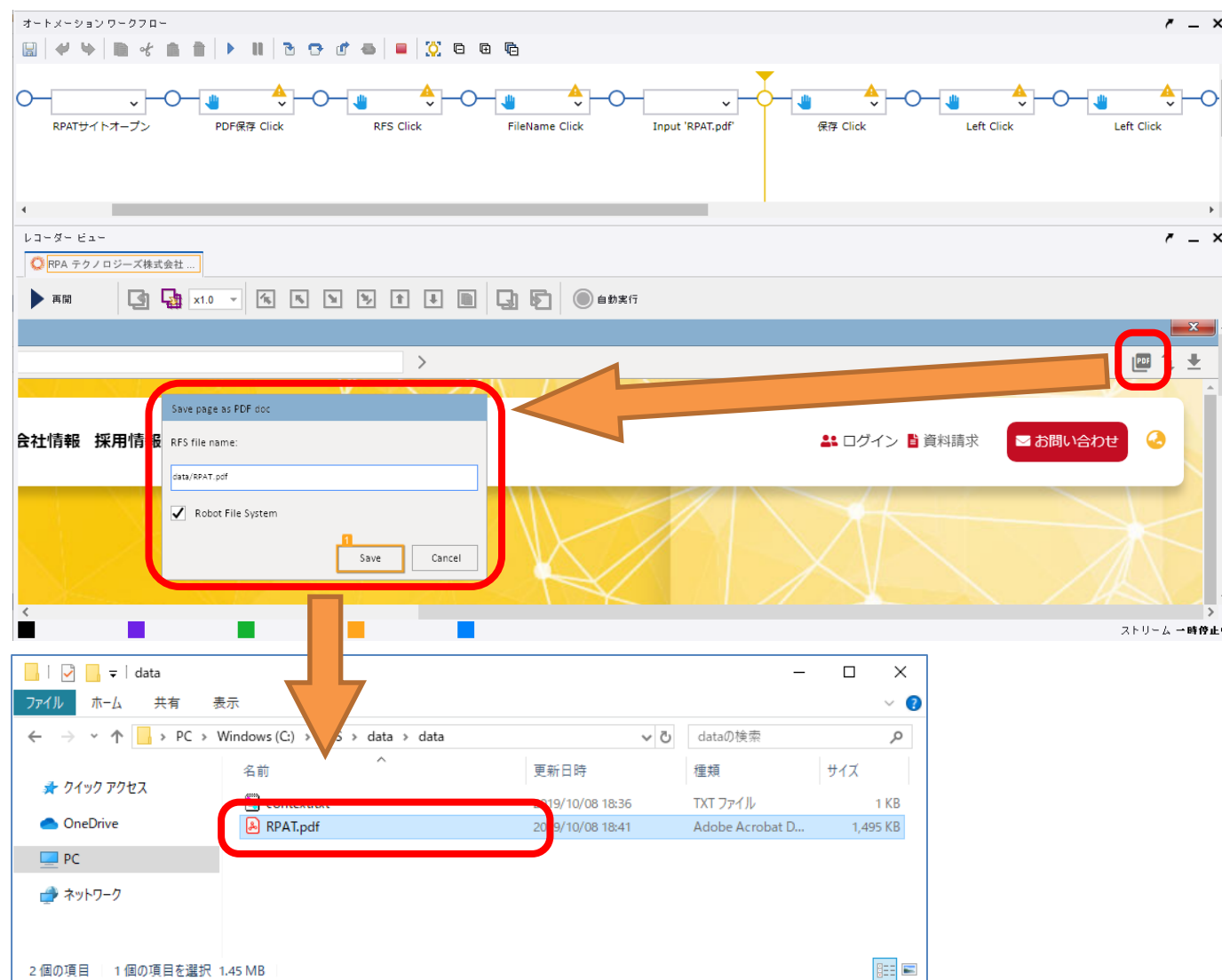


【参考】DAS Easy Upgradeの実行環境例

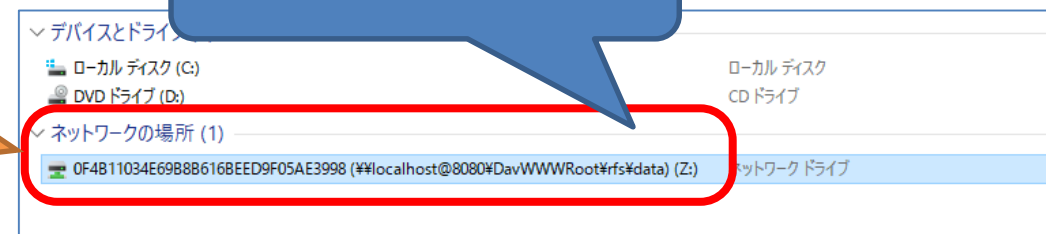
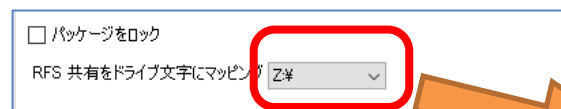
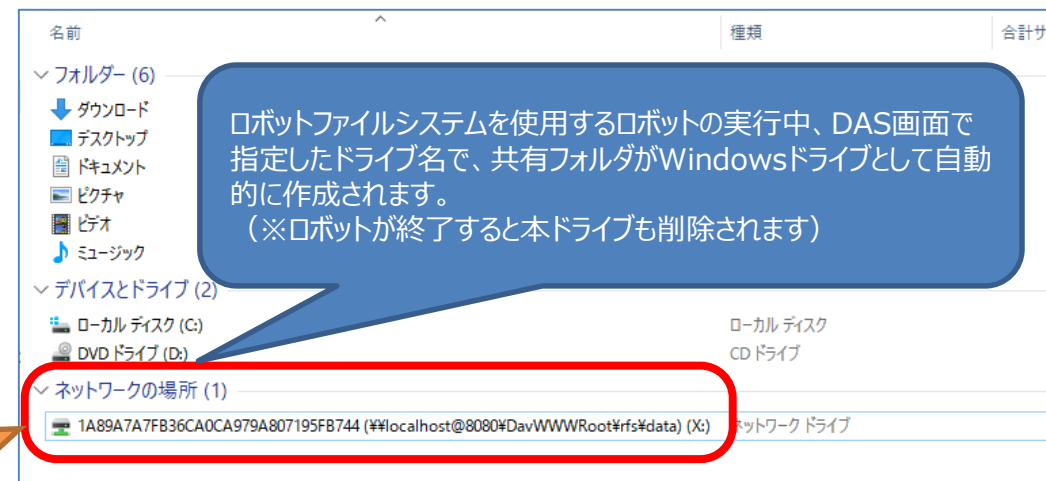
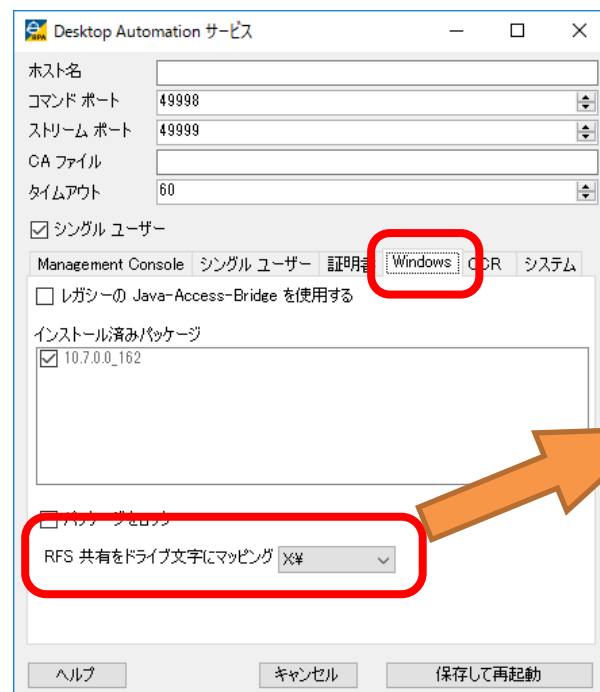
- ・10.3.0.7は、DAS Easy Upgradeの対象となっていないため、DA操作を含むロボットはエラーとなります。



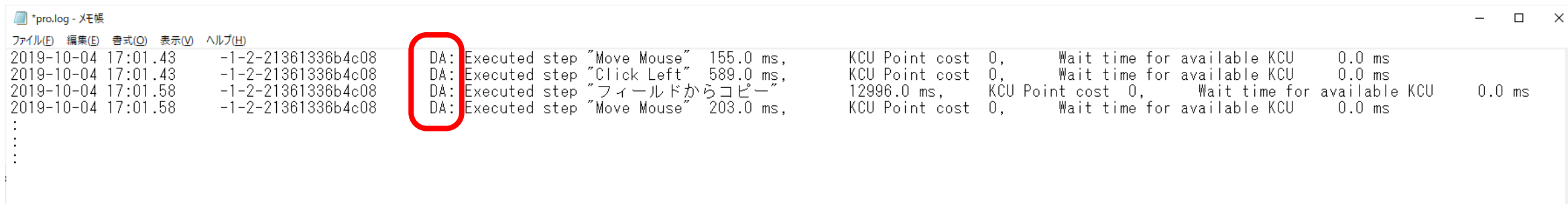
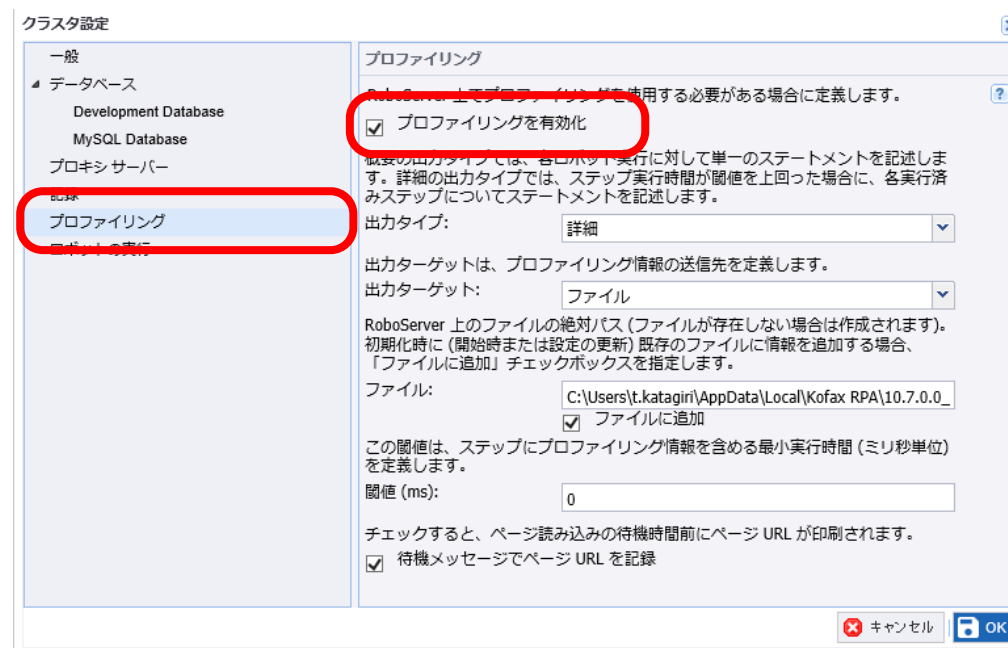
- ロボットファイルシステムサーバをFTPおよびSFTP (SSH File Transfer Protocol) で構築できるようになりました。尚、FTPの場合、FTPS (FTP over SSL/TLS) がサポートされています。
- DAにおける組み込みブラウザを使用してファイルをダウンロードする場合、または開いているサイトをPDFで保存する場合、そのファイルをロボットファイルシステムに保存できるようになりました。



- ロボットファイルシステムが使用する共有フォルダを、Windowsドライブとして登録できるようになりました。
- この共有フォルダのドライブ名は、DAS画面にて任意のものを設定できます。
- この設定を行うことで、ロボットファイルシステムにアクセス可能なロボットが共有フォルダにアクセスする場合、このWindowsドライブを指定するだけで共有フォルダ内のファイルにアクセスできるため、ロボットの開発作業が容易になります。



- MCの「クラスタ設定」にてプロファイリングを有効化した際に作成されるロボット実行ログに記録される情報が、より詳しくなりました。
- DAの実行に関するログをMCから確認することができるようになりました。
- DAのアクションステップについては、項目の先頭に「DA」という文字列が付与されることで、ログの可読性が高まりました。



- DASの稼働状況をMC画面から確認でき、ログを閲覧するためにわざわざDAS端末にアクセスする必要がなくなりました。
(※DASがMCに接続していない場合は、DAS端末にログファイルが保存されます)

KOFAX RPA Management Console
バージョン 10.7.0.0 162

サーバー時間: 10:01 | ローカル時間: 10:01 | 以下としてログイン: t.katagiri@bizrobo.com

Kapplet スケジュール リポジトリ データ ビュー **ログビュー** 管理

ログビュー

ログを選択	DASの日付	ログの日付	重要度	DAS ID	アカウント名	実行 ID	ロボット名	DAS イベント	ラベル	削除
スケジュール実行	2019-10-03 10:08:04.412	2019-10-03 10:08:05.383	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			stop	Label1	
スケジュール メッセージ	2019-10-03 08:20:47.336	2019-10-03 08:20:50.838	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			start	Label1	
RoboServer	2019-10-01 06:26:10.287	2019-10-01 06:26:11.351	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			stop	Label1	
ロボット実行	2019-10-01 05:41:54.867	2019-10-01 05:41:55.210	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...	DS_BRT-PC17-10010.OP...	test_excel_c	disconnect	Label1	
ロボット メッセージ	2019-10-01 04:11:53.024	2019-10-01 04:11:54.785	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...	DS_BRT-PC17-10010.OP...	test_excel_c	connect	Label1	
ロボット	2019-10-01 04:06:25.543	2019-10-01 04:06:26.025	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			start	Label1	
DAS	2019-10-01 04:06:24.245	2019-10-01 04:06:24.626	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			stop	Label1	
	2019-10-01 04:04:12.402	2019-10-01 04:04:13.390	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			start	Label1	
	2019-09-30 08:58:07.919	2019-09-30 08:58:09.183	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			stop	Label1	
	2019-09-30 08:55:33.107	2019-09-30 08:55:34.458	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...	DS_BRT-PC17-10010.OP...	test_excel_c	disconnect	Label1	
	2019-09-30 08:27:05.125	2019-09-30 08:27:06.451	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...	DS_BRT-PC17-10010.OP...	test_excel_c	connect	Label1	
	2019-09-30 08:26:28.736	2019-09-30 08:26:29.921	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...	DS_BRT-PC17-10010.OP...	test_excel_c	disconnect	Label1	
	2019-09-30 08:26:26.236	2019-09-30 08:26:28.374	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...	DS_BRT-PC17-10010.OP...	test_excel_c	connect	Label1	
	2019-09-30 08:18:58.240	2019-09-30 08:19:00.923	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			start	Label1	
	2019-09-27 07:57:35.523	2019-09-27 07:57:36.890	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			stop	Label1	
	2019-09-27 05:07:37.681	2019-09-27 05:07:38.852	情報	192.168.44.1...	DESKTOP-QEBIRIJt.kat...			start	Label1	

開始: [] 終了: []
ログの日付 開始: [] 終了: []
重要度 情報
DAS ID 次を含む []
アカウント名 次を含む []
実行 ID 次を含む []
ロボット名 次を含む []
ページごとの結果: 40
列を増やす リセット 更新

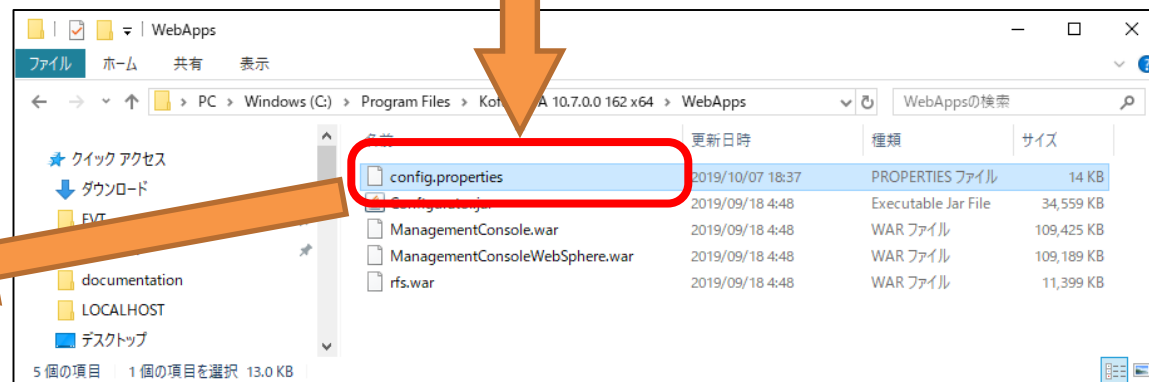
ページ 1 / 1 1を表示中 - 16 / 16

- MCの設定情報やMC画面を構成するJSPファイル等を格納しているWARファイルに対し、コマンドラインベースでその設定情報を抽出したり、反対に設定を書き換えたりできるようになりました。
- 以下の操作がコマンドラインからの実行で可能になります。

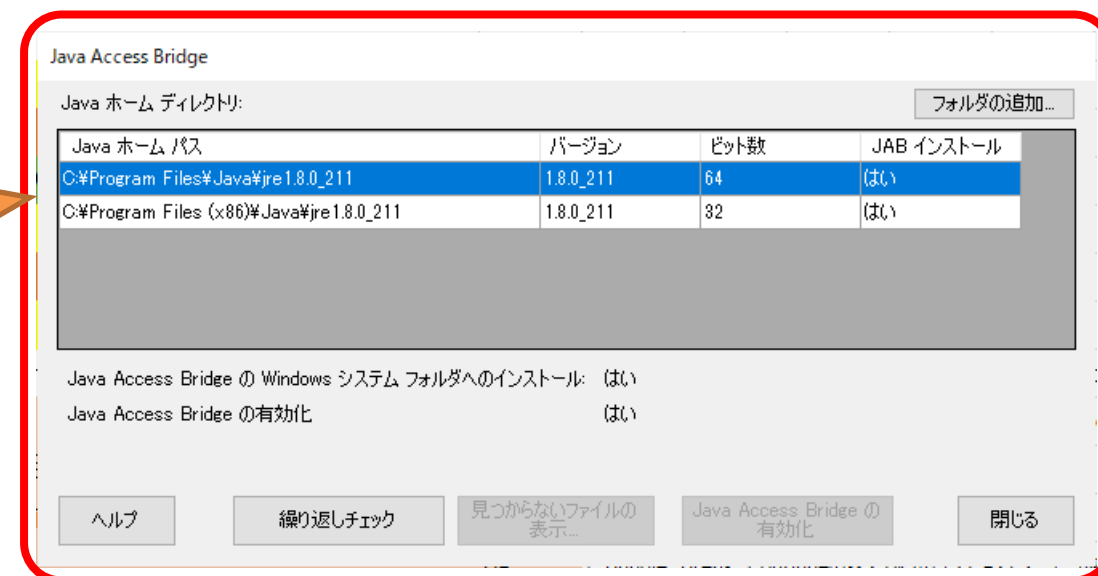
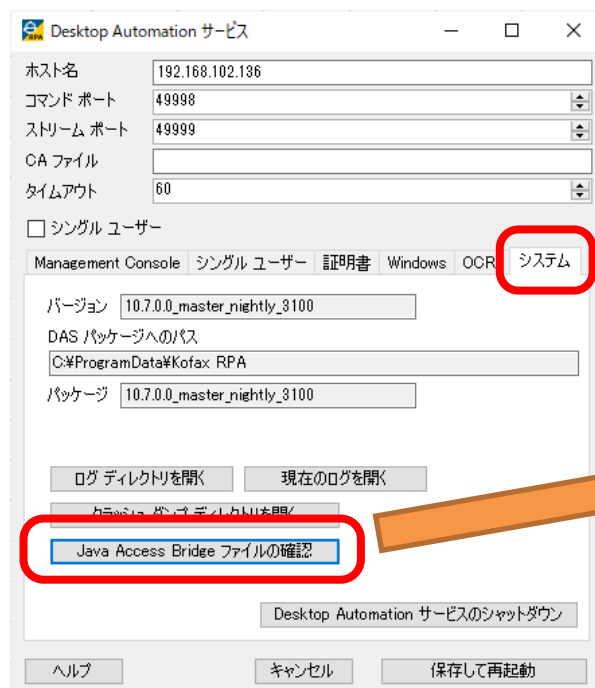
1. MC設定情報テンプレートファイルの作成
2. 最新のMC設定情報の抽出
3. 現行のMCへの設定内容の書き換え

```
管理: コマンドプロンプト
C:\Program Files\Kofax RPA 10.7.0.0 162 x64\WebApps>java -jar Configurator.jar -t config.properties
Attempting to extract configuration from previous installation located at null ...
conf/web.xml ... skipped
META-INF/context.xml ...
WEB-INF/Configuration.xml ...
WEB-INF/spring/common.xml ...
WEB-INF/spring/saml.xml ...
WEB-INF/login.xml ...
conf/server.xml ... skipped
WEB-INF/classes/META-INF/persistence.xml ...
WEB-INF/classes/log4j.properties ... skipped
... done
C:\Program Files\Kofax RPA 10.7.0.0 162 x64\WebApps>
```

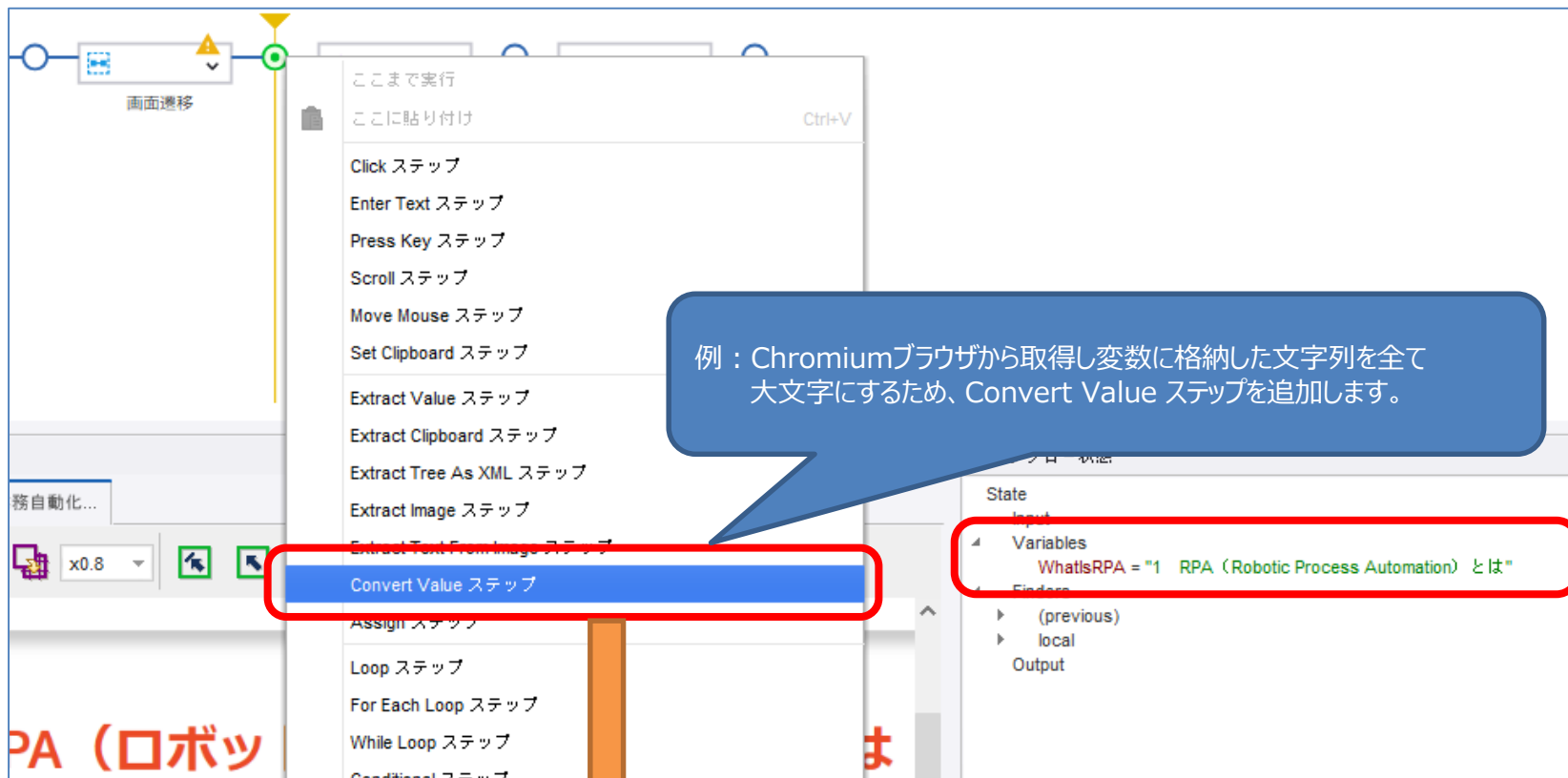
```
C:\Program Files\Kofax RPA 10.7.0.0 162 x64\WebApps\config.properties - sakura 2.2.0.1 (上書き禁止)
config.properties(上書き禁止)
1 ##### /usr/local/tomcat/webapps/ROOT.war!META-INF/context.xml #####
2 #
3 # Here you can define the context for the Management Console application in particular the database
4 # configuration.
5 #
6 #####
7 #
8 # Maximum number of database connections in pool. Make sure to configure your database to handle (at least) as
9 # many connections as you define here.
10 # (default: 100)
11 context.resource.maxtotal=100
12 #
13 # Maximum number of idle database connections to retain in pool. Set to -1 for no limit. See also the DBCP
14 # documentation about this.
15 # (default: 30)
16 context.resource.maxidle=30
17 #
18 #
```



- DAS画面が日本語になりました。
- Java Access Bridgeインストール状態の確認、およびJava Access Bridgeを有効化する作業が、DAS画面でのマウス操作で実現できるようになり、従来のようにコントロールパネルを開いたり、コマンドプロンプトを起動してコマンド入力したりする必要がなくなりました。

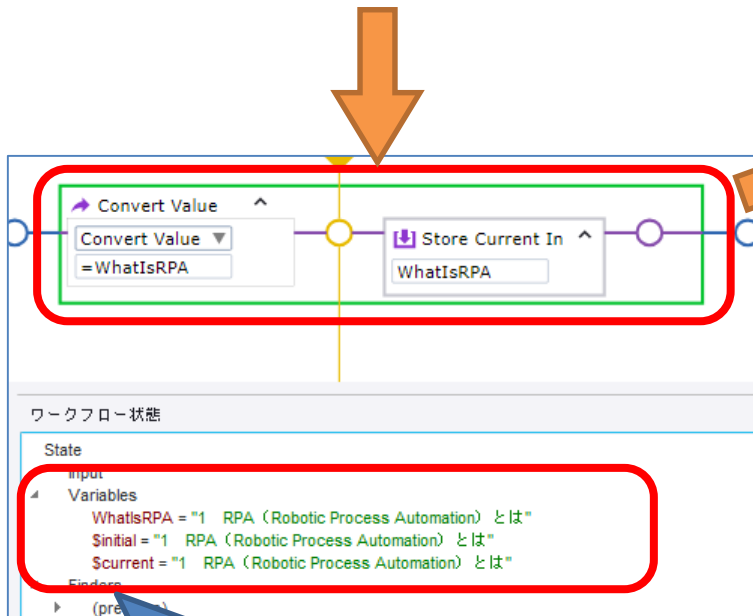


- DAのコンポーネントから抽出したデータやユーザーの入力データを、DAエディタ内で変換する機能が強化されました。
- DAのステップに新たに追加された「Convert Value」ステップを使用することで、DAエディタ内でデータを変換する様々な関数を使用できるようになりました。
- この機能強化により、DAで取得したデータは引き続きDAエディタ内で適切な形式に加工してからDS側のステップに受け渡すことが可能になり、DS側で変数を加工する手間が省けるため、ロボット開発が容易になります。



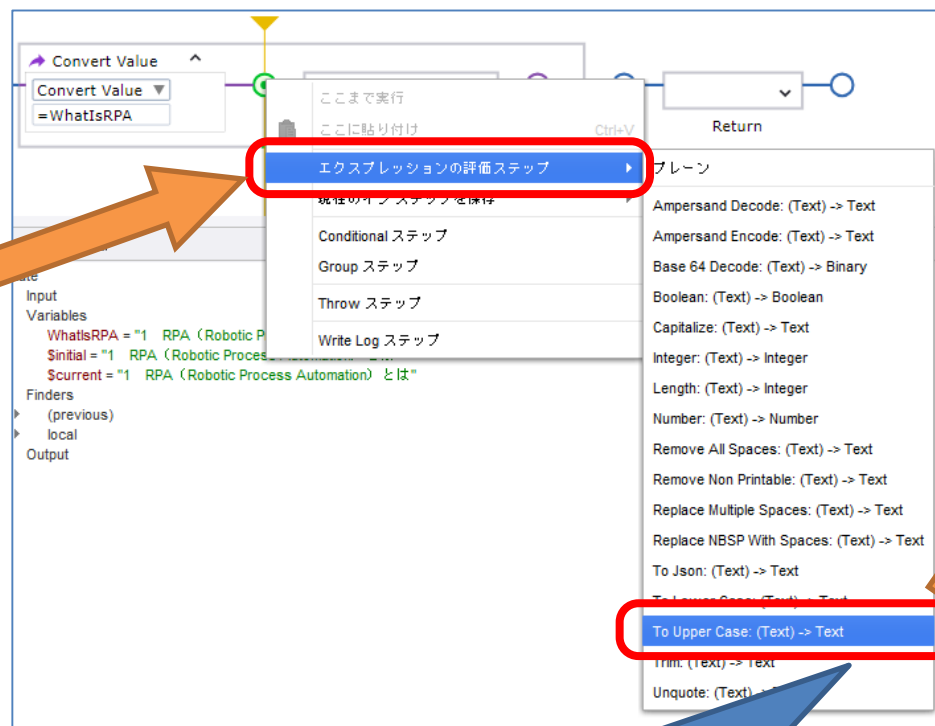
(次ページに続く)

(前ページより)

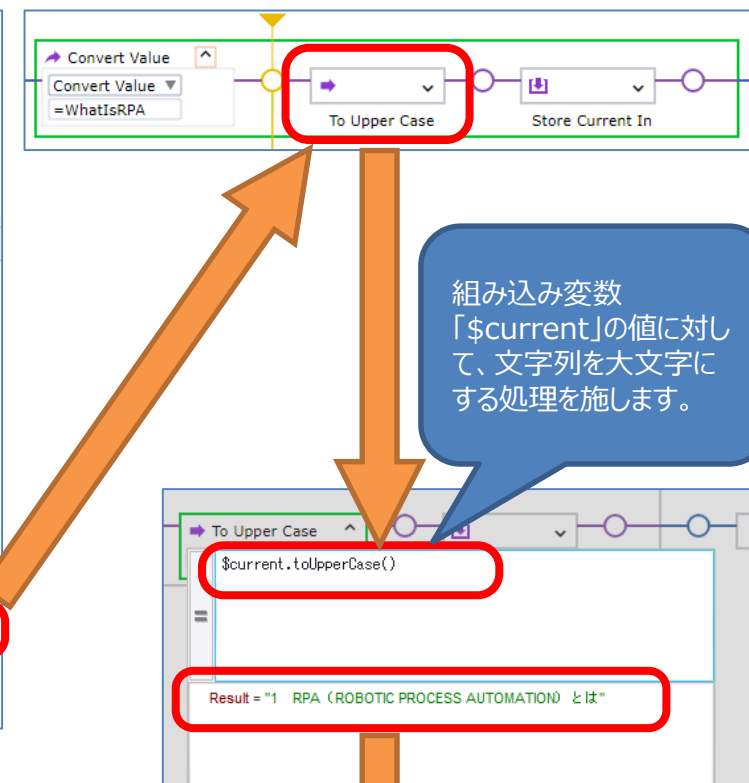


追加したConvert Valueステップの中に入ると、変換対象の変数に次の2つの組み込み変数が追加されます：

- ① \$initial : 変数の変換前初期値を格納
- ② \$current : 変換中の変数値を格納



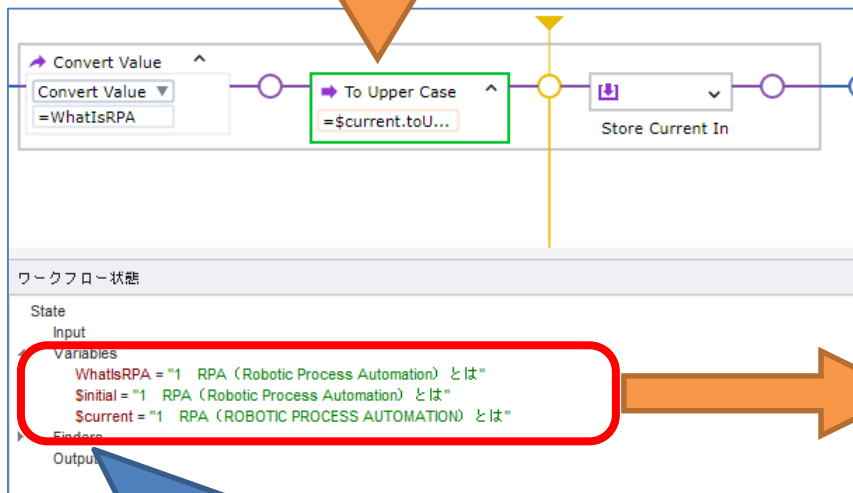
Convert Valueステップの中で、「エクスプレッションの評価ステップ > To Upper Case」を選択し、変数値を大文字に変換するステップを追加します。



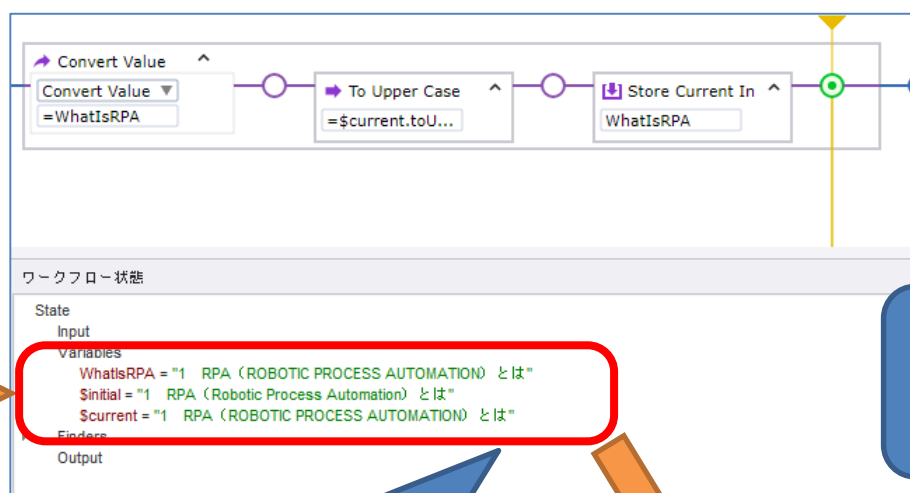
組み込み変数「\$current」の値に対して、文字列を大文字にする処理を施します。

(次ページに続く)

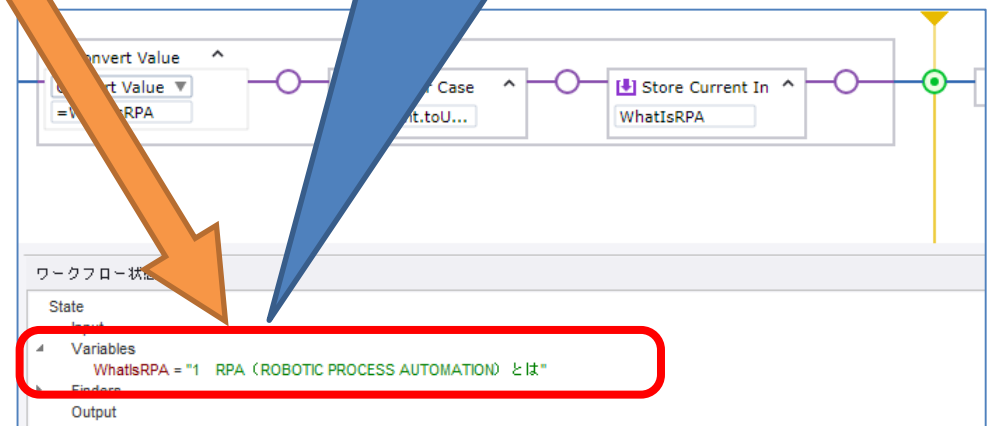
(前ページより)



追加した「To Upper Case」ステップを通過すると、\$current が大文字になります。



Convert Valueステップの中の「Store Current In」ステップを通過すると、代入先に指定した変数（ここでは、変換対象変数である「WhatIsRPA」）に\$current の値が代入されます。



Convert Valueステップを抜けると、変換対象の変数の文字列が大文字に変換されました。

- DAにおける組み込みブラウザを使用することで、フォームの入力項目の入力値を変数に抽出できるようになりました。
- 値を抽出する項目を右クリックし、以下の通りメニューをたどることで値を抽出できます。

ここから値を抽出 > 派生した属性 > value
イントゥー > (代入する変数を選択)

The screenshot displays the RPA workflow editor interface. At the top, a workflow diagram shows a sequence of steps: '値を抽出' (Extract Value), '製品紹介 Click' (Product Introduction Click), 'RPAとは Click' (What is RPA Click), '値を抽出' (Extract Value), and 'Return'. Below this, the 'レコーダー ビュー' (Recorder View) shows a web form with fields for '会社名' (Company Name) and '部署名' (Department Name). The '会社名' field contains the text 'RPAテクノロジーズ株式会社'. A context menu is open over this field, with the path 'ここから値を抽出' (Extract value from here) > '派生した属性' (Derived properties) > 'value イントゥー' (value into) > '変数を作成' (Create variable) > 'company: Text' selected. The 'ワークフロー状態' (Workflow State) panel on the right shows the current state of variables, including 'company = "RPAテクノロジーズ株式会社"'. An orange arrow points from the selected variable in the state panel to the 'company' variable in the state panel.

- DAにおける組み込みブラウザ、Excel、一般的なデスクトップアプリ、およびDTSによるドキュメント操作において、ファインダーの精度が向上しました。
- これは、DAでの操作対象となるアプリ別に、経験則を進化し発展させた成果となります。
- この他、DAで同一の項目に日本語を上書きする精度が向上しました。

例：Built-in Excelを使用してExcelファイルの行ループを行い、その行の中の特定のセルを選択する場合、そのセルを一意に指定するファインダーの設定値に、すべての行に共通な列インデックスが使用されます。
この改善により、アクションステップ追加後のチューニングの手間が軽減されます。

レコーダービュー

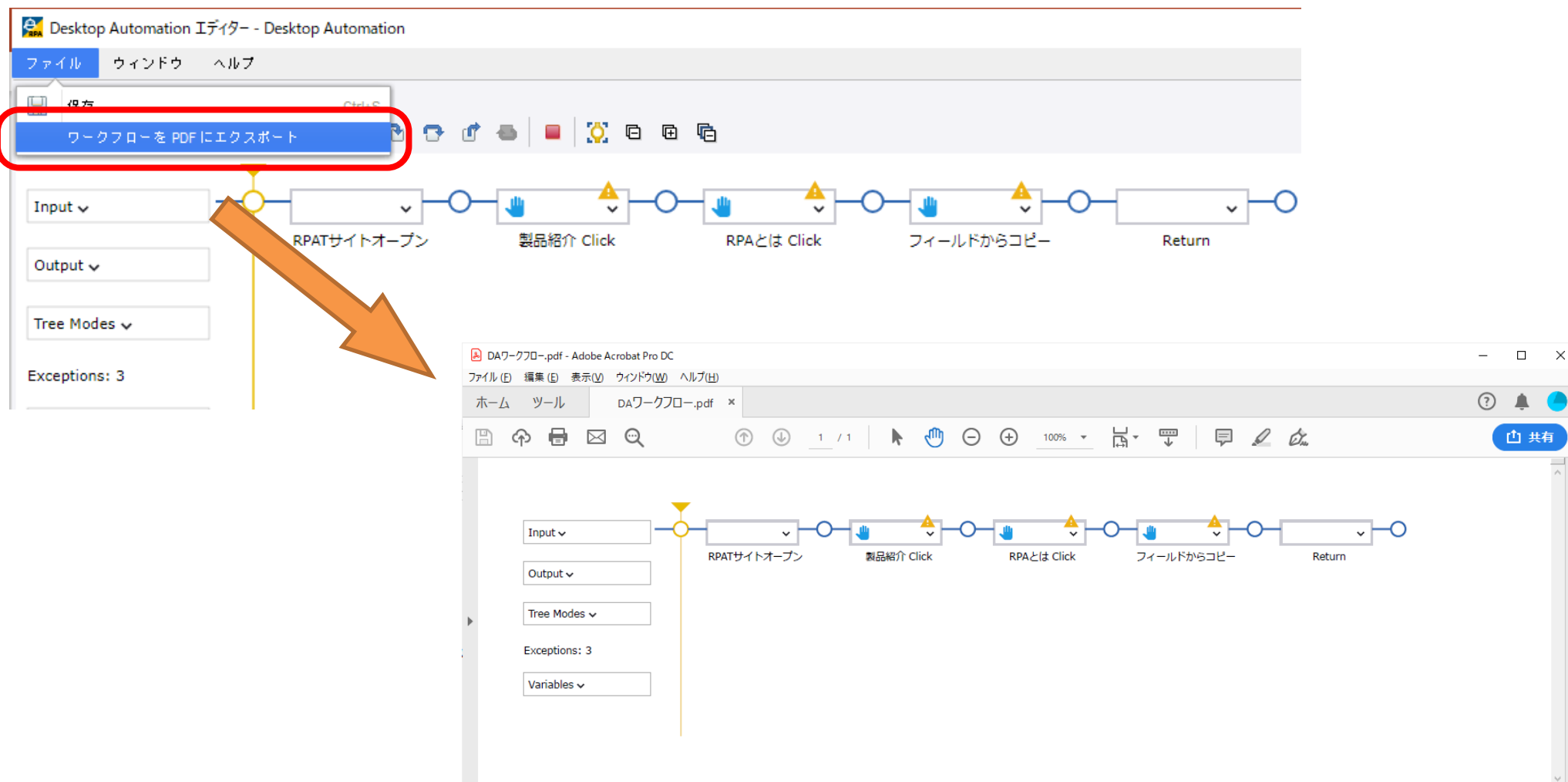
ABC	いろはに	ほへと	祇園精舎の鐘の声	諸行無常の響あり
1234	€ 56.78	-888	1.12223E+19	2019/10/30
346	€ 113.56	#NUM!	3349975126	10


Inner Component
Cell [ColumnIndex='3']
Result = "Cell[ColumnIndex='3']"

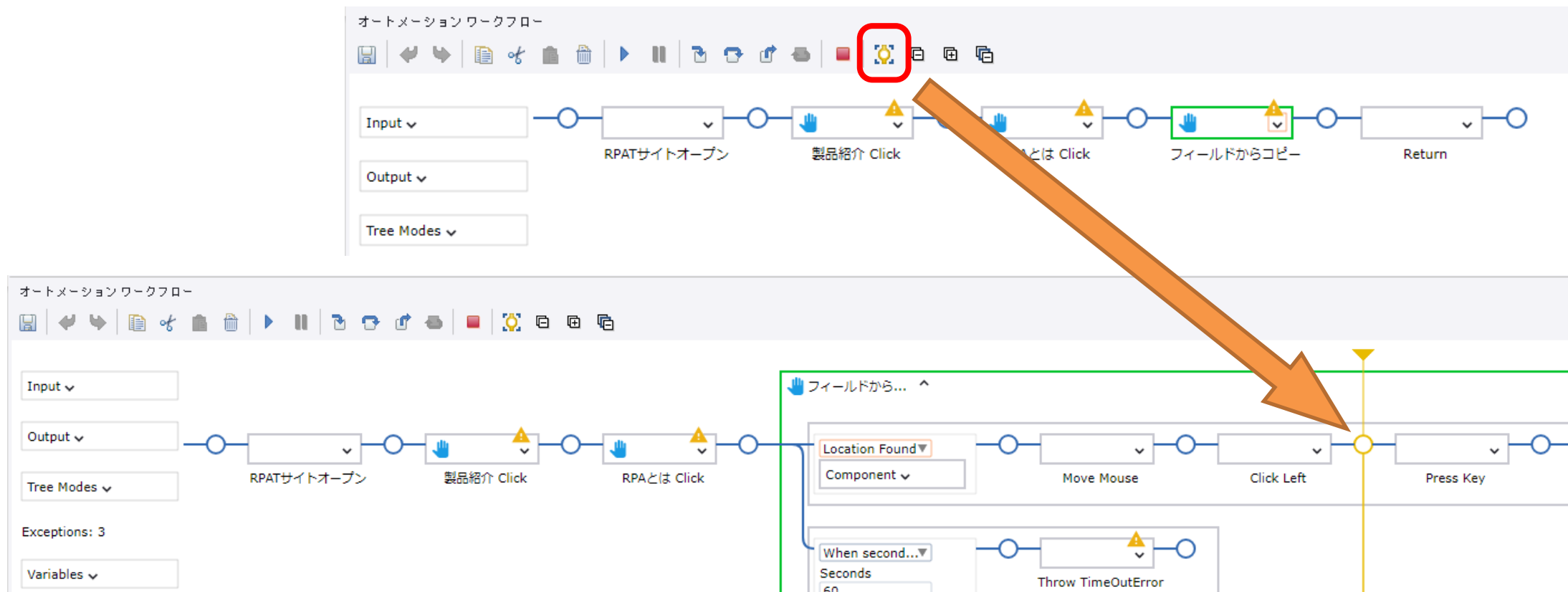
Press button (or Ctrl-e) to change mode.

```
<MSEExcel >  
  <Workflow >  
    <Loop >  
      <Element >  
        <Row >  
          <Cell >ABC</Cell>  
          <Cell >いろはに</Cell>  
          <Cell Address="$C$1" RowIndex="1" ColumnIndex="3" der_x="200" der_y="99" der_width="72" der_height="21">ほへと</Cell>  
          <Cell >祇園精舎の鐘の声</Cell>  
          <Cell >諸行無常の響あり</Cell>
```

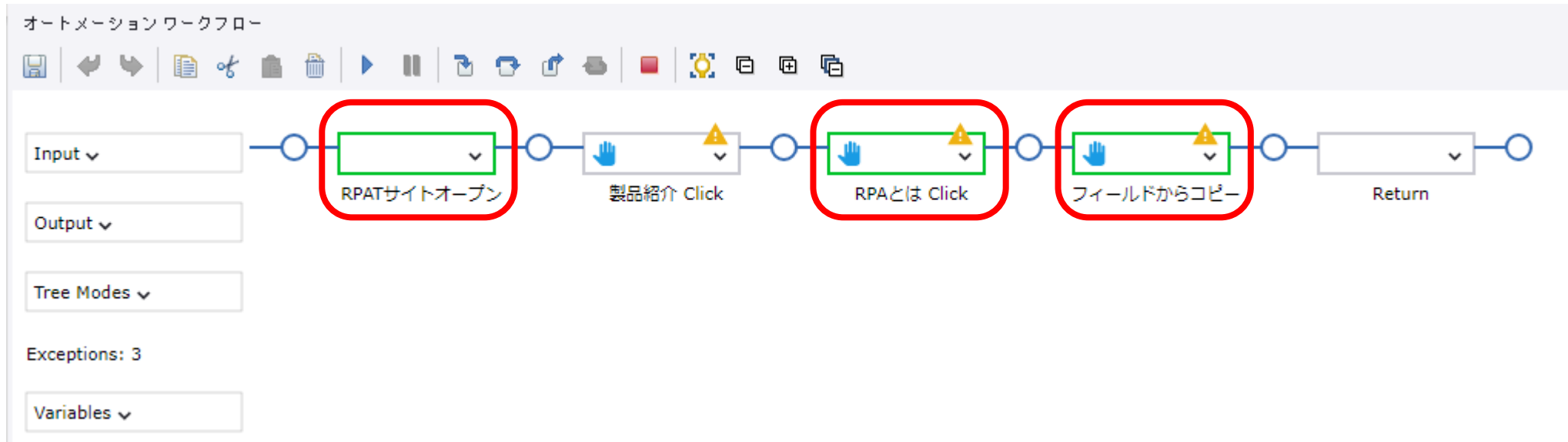
- DAエディタ内で構築したワークフローをPDFに出力できるようになりました。



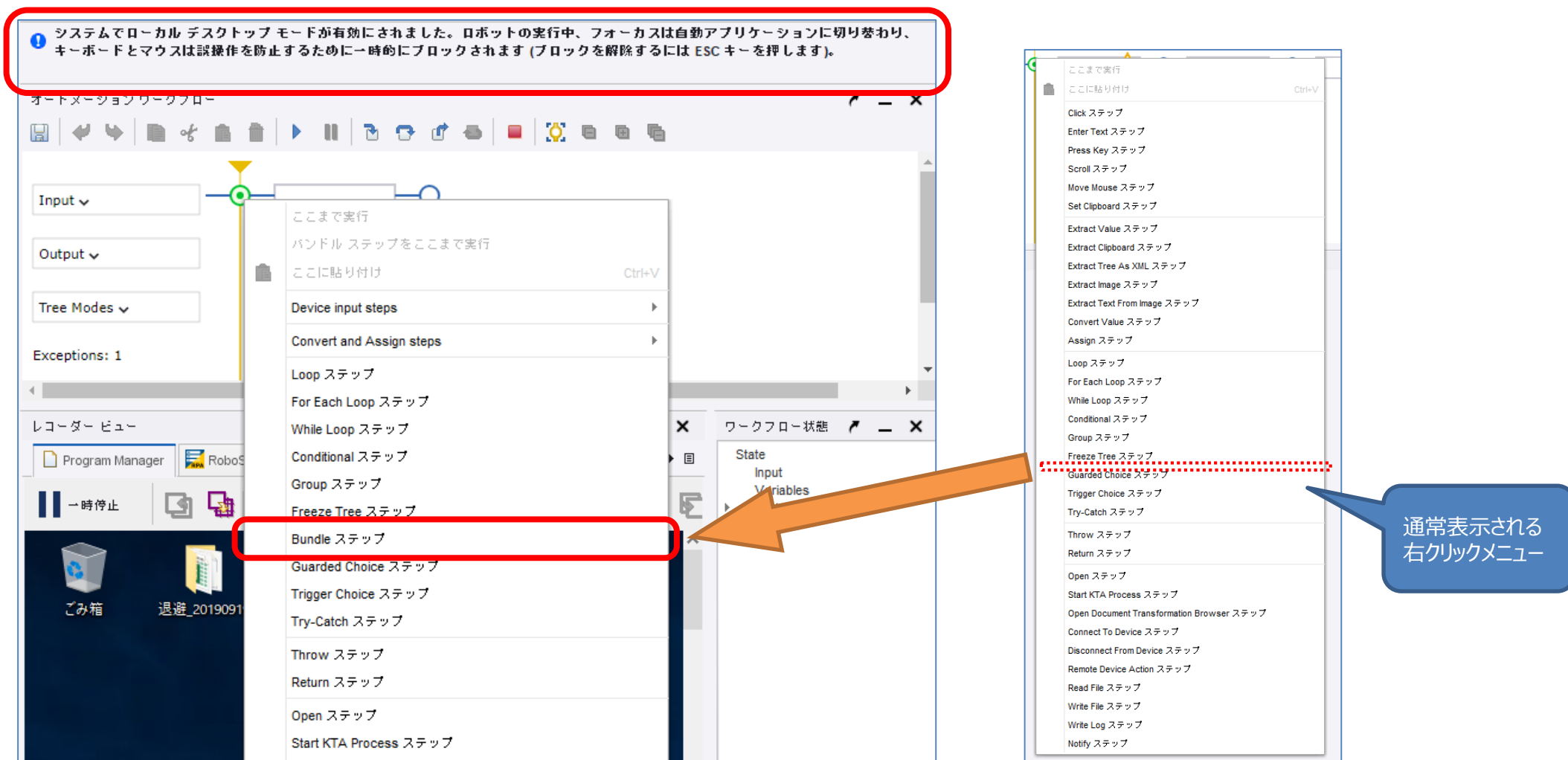
- 「現在のフローポイントに移動 」
ボタンが追加されました。このボタンをクリックすると、現在のフローポイントが非表示の場合（表示中のウィンドウの欄外にいる、またはグループステップの中に埋もれている、など）でもワンタッチで移動できるようになりました。



- ShiftキーやCtrlキーを使用して、複数ステップの選択ができるようになりました。



- 「Bundle ステップ」は、ローカルデスクトップオートメーションを使用する場合のみ表示されるように変更されました。

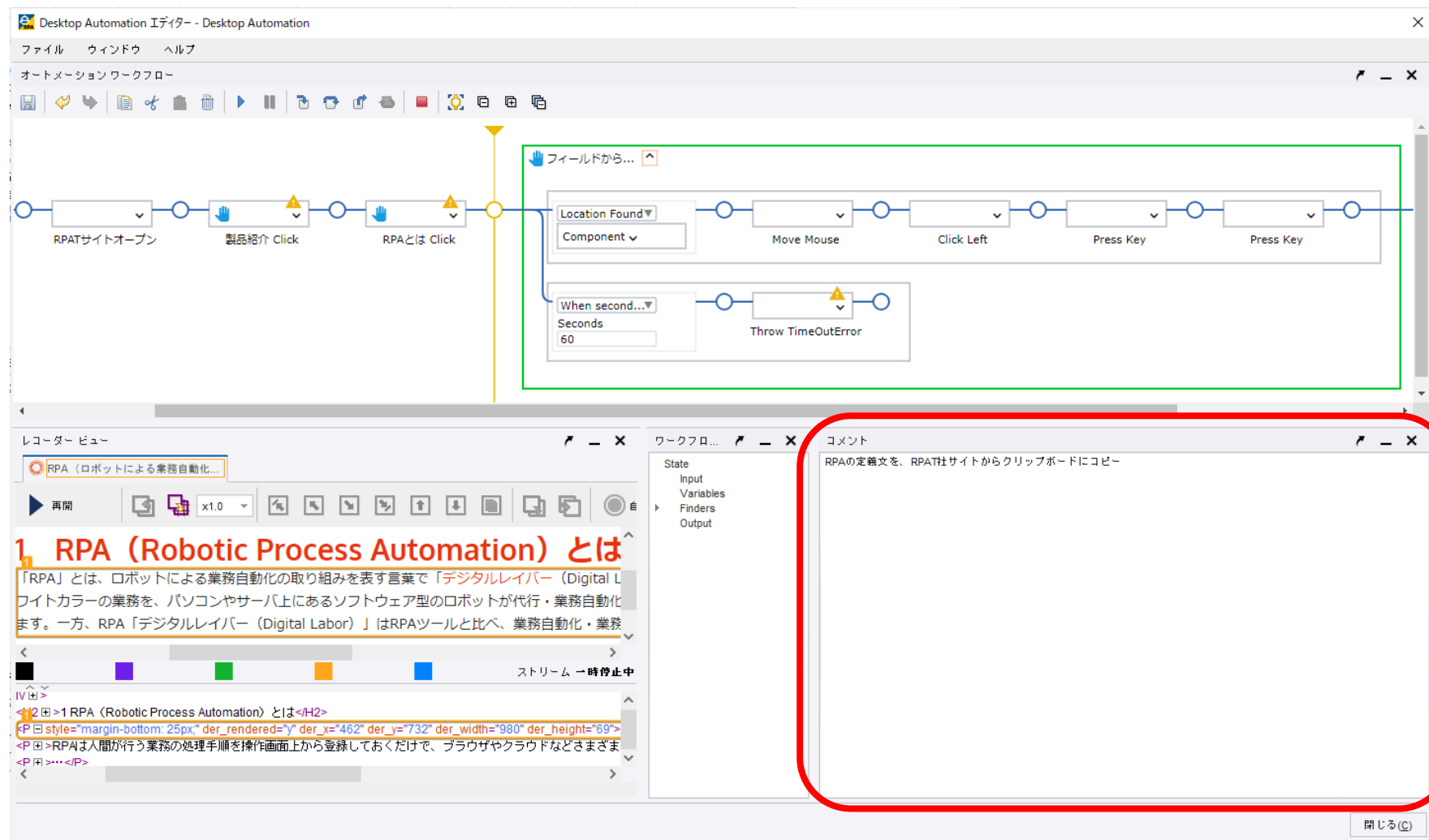


- 以下の2つのステップは、ループステップ内でステップを追加する場合のみ表示されるように変更されました。

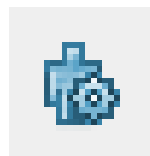
- ① Break ステップ
- ② Continue ステップ

The screenshot displays the DA Editor interface. At the top, a workflow is visible with a 'For Each Child' loop containing a 'Location Found' step and a 'Component' dropdown. Below this is a 'For Each Loop' step with a 'Scope Finder' dropdown and options for 'Element Alias', 'Element Selector', 'Exclude First', and 'Iteration Variable'. A right-click context menu is open over the 'For Each Loop' step, listing various actions. The 'Break ステップ' and 'Continue ステップ' are highlighted in a red box. A blue callout box with an arrow points to the menu, containing the text '通常表示される右クリックメニュー'.

- DA (Desktop Automation) 内のアクションステップやグループステップに対し、コメントを残せるようになりました。
- コメント欄に記載したコメントは、欄外をクリックすることで自動的に保存されます。



- ロボットファイルに、そのロボットの用途等を説明するタグを付与できるようになりました。
- 本タグは、DSの「ロボット設定」ウィンドウの「基本」タブにて編集できます。
- タグは複数設定することが可能です。
※一つのタグにつき128文字までの制限があります



ロボットの設定

基本 詳細 プロキシサーバー *デザインモード バージョン

デフォルト オプション:

ロボット コメント:

ロボット タグ:

手動の処理時間 (分):

- タグはロボットをアップロードしたMCに連携され、MC画面でのフィルタリングに対応しています。
※ロボットコメント機能は、DSのみで使用されるコメントとなります（MCには連携されません）

KOFAX RPA Management Console
バージョン 10.7.0.0 162

Kaplet スケジ

リポジトリ > ロボット

ロボット

タイプ スニペット リソース デバイス マッピング テー

+ ロボットの追加

ロボット名 タグ プロジェクト 新機能紹介プロジェクト

フォルダ	名前	プロジェクト名	タグ	バージョン	サイズ	スケジュール	削除	ラベル
	DA	新機能紹介プロジェクト	DAサンプル, RPAT社サイトからの文章コピー	10.7.0.0	50.60 KB	0	🗑️	0
	KAN-001	新機能紹介プロジェクト	管財課, 資産残高表のメール送信ロボ	10.7.0.0	5.70 KB	0	🗑️	0
	KEI-001	新機能紹介プロジェクト	経理課, 締売上高伝達依頼メール送信ロボ	10.7.0.0	5.71 KB	0	🗑️	0
	KEI-002	新機能紹介プロジェクト	経理課, 締売上高をメールから取得ロボ	10.7.0.0	5.71 KB	0	🗑️	0
	KEI-003	新機能紹介プロジェクト	経理課, 財務諸表への売上高転記ロボ	10.7.0.0	5.70 KB	0	🗑️	0

KOFAX RPA Management Console
バージョン 10.7.0.0 162

Kaplet スケジ

リポジトリ > ロボット

ロボット

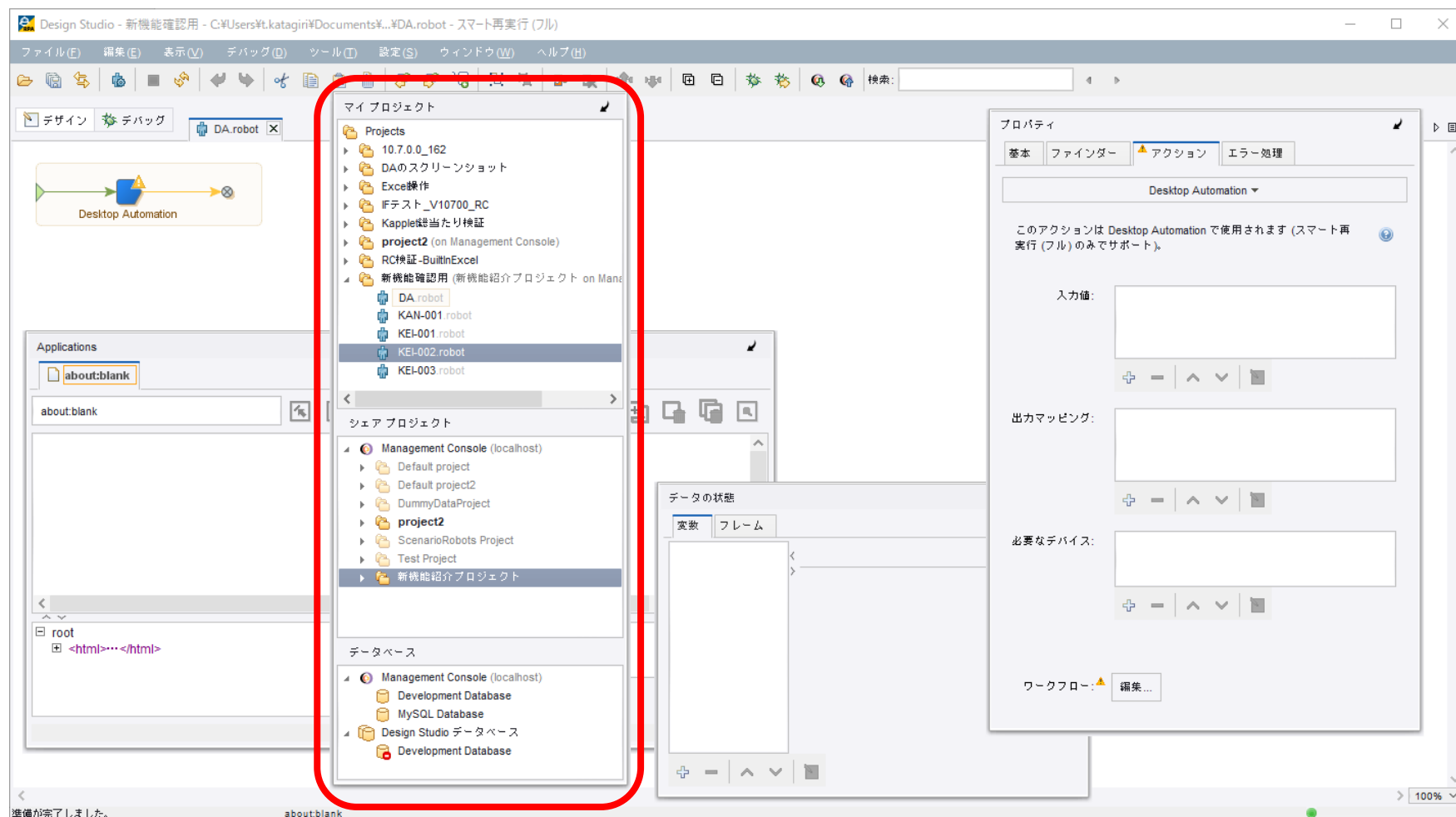
タイプ スニペット リソース デバイス マッピング テー

+ ロボットの追加

ロボット名 タグ 経理課 プロジェクト 新機能紹介プロジェクト

フォルダ	名前	プロジェクト名	タグ	バージョン	サイズ	スケジュール	削除	ラベル
	KEI-001	新機能紹介プロジェクト	経理課, 締売上高伝達依頼メール送信ロボ	10.7.0.0	5.71 KB	0	🗑️	0
	KEI-002	新機能紹介プロジェクト	経理課, 締売上高をメールから取得ロボ	10.7.0.0	5.71 KB	0	🗑️	0
	KEI-003	新機能紹介プロジェクト	経理課, 財務諸表への売上高転記ロボ	10.7.0.0	5.70 KB	0	🗑️	0

- DSを構成するウィンドウを自由に動かせるようになりました。
- 「マイプロジェクト」「シェアプロジェクト」「データベース」の3つのウィンドウが、新たに1つの「マイプロジェクト」ウィンドウとして統合されました。
- 開発環境をマルチディスプレイで運用している場合、これらのウィンドウをもう一つのディスプレイに移動して開発作業を行うことが可能になります。



1. 新機能等について
- 2. 旧バージョンからの変更点について**
3. 既知の事象について

項目	内容
ロール種別の変更	Administrator権限が廃止され、同等の機能をもったユーザグループが用意されています。
バックアップの復元について	10.7では復元モードのリセットとマージから選択可能になりました。 リストア先で変更済みの設定内容について、リセットでは全てバックアップデータの状態に戻ってしまうのに対し、マージではバックアップデータでは設定がされていない一部項目について変更済みの内容を保持します。
DSのビューの名称変更	ウィンドウビュー、ツリービュー、および待機ビューを統合して「アプリケーション」ペインとなりました。
DAのReplace Textステップの挙動変更	DAでReplace Test（テキストの置き換え）ステップを追加した際、テキストボックスを選択した後にCtrl + Aで全選択した上で新しい文字列を入力する方法に変更されました。
ログイン試行回数の上限值撤廃	「3回ログインに失敗した場合は10分間のログイン不可時間を設ける」という制限が撤廃されました。 ※設定により上記制限を設けることも可能です。
イメージファインダーの検索上限値変更	DAのイメージファインダーにて、検索するオブジェクトを3,000件までに制限しました。 3,000件検索してもファインダーにマッチする画像が見つからない場合は「not found」となります。

10.7では、10.3及び10.4に対しロール種別の変更があり、また不具合修正もされています。この変更により、下位バージョンからの移行時に対応が必要な場合があります。

【変更点】

・ManagementConsoleで管理されるロール種別の変更

Administrator権限が廃止されました。ただし、同等の機能をもったユーザグループが用意されています。

・プロジェクトに割り当てるロール種別の変更

ManagementConsoleで管理されるロール種別変更により、プロジェクトでユーザグループに割り当てるロール種別も変更となります。

・ProjectAdministrator権限の不具合修正

10.7以前のProjectAdministrator権限では、他のProjectの設定が変更できるなどの不具合がありました。10.7でこの不具合が修正されました。

10.7では、10.3及び10.4に対しロール種別の変更があり、また不具合修正もされています。この変更により、下位バージョンからの移行時に対応が必要な場合があります。

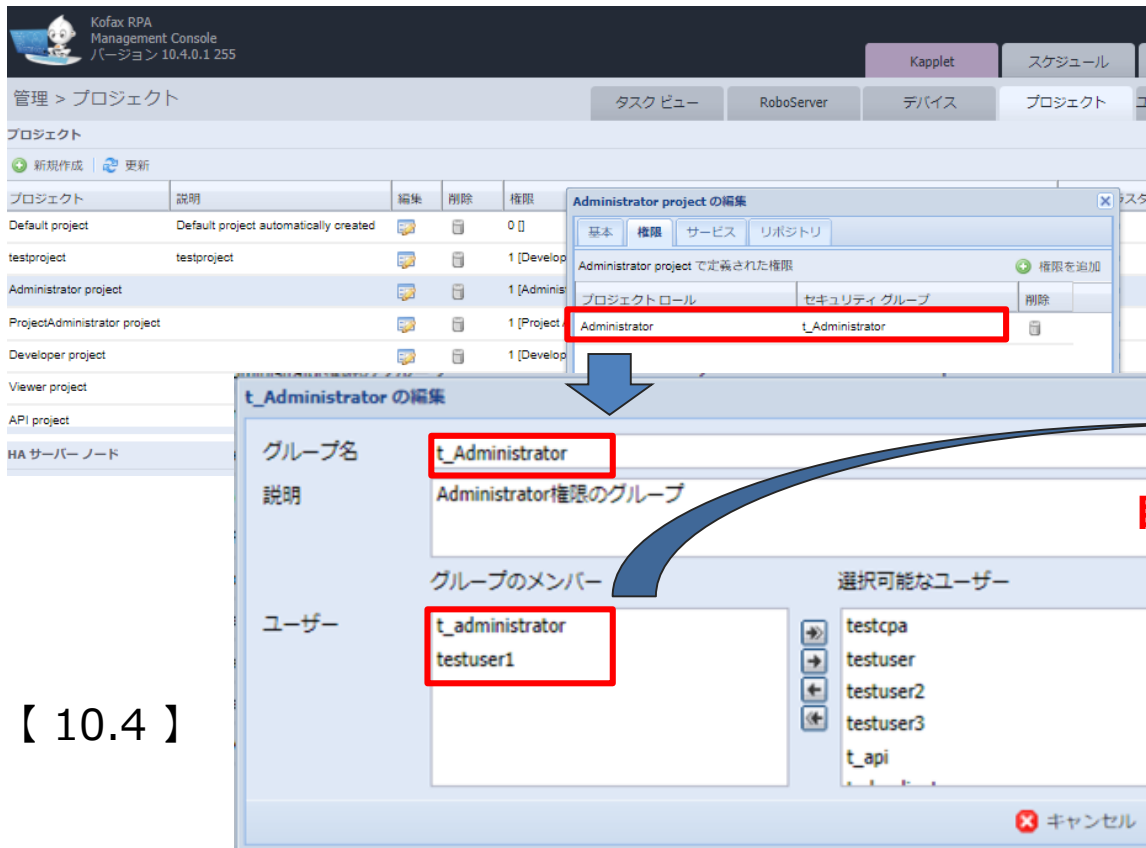
ユーザーおよびグループの変更点	変更内容
ManagementConsoleで管理されるロール種別	Administrator権限が廃止されました。 同等の機能をもったユーザーグループが別途用意されています。
プロジェクトに割り当てるロール種別	ManagementConsoleで管理されるロール種別変更により、プロジェクトでユーザーグループに割り当てるロール種別も変更となります。 ユーザーグループにAdministrator権限を割り当てることはできません。
ProjectAdministrator権限の不具合修正	10.7以前のProjectAdministrator権限では、他のProjectの設定が変更できるなどの不具合がありましたが、10.7でこの不具合が修正されました。

ManagementConsoleで管理されるロール種別の比較

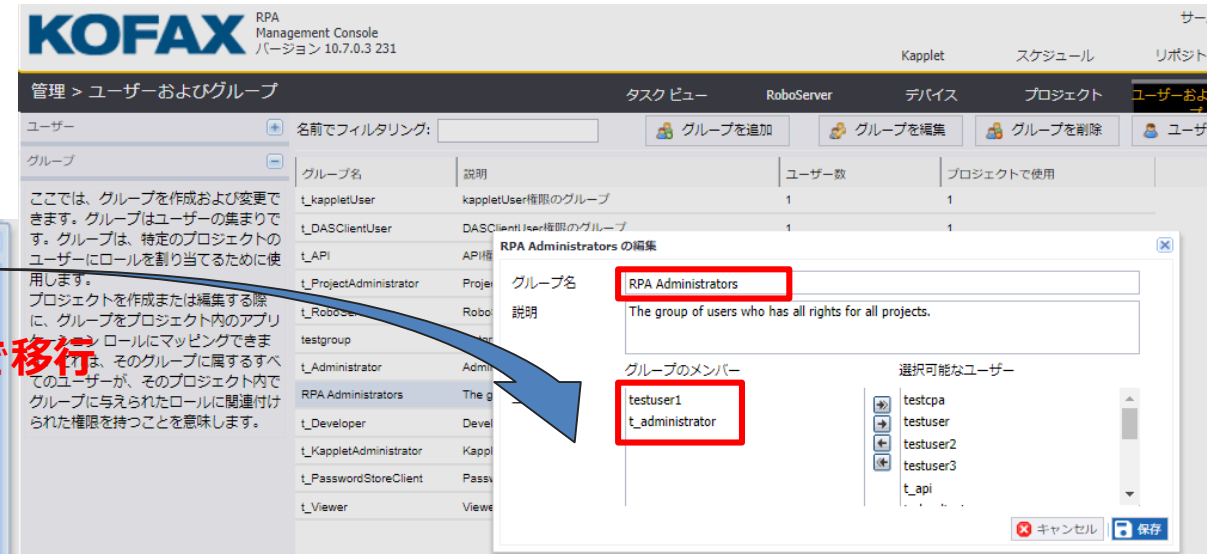
10.4	10.7	備考
SuperUser	SuperUser	
Administrator	廃止	グループに「RPA Administrators」が新設
Project Administrator	Project Administrator	プロジェクトに割り当てられる最上位のロール
Developer	Developer	
Viewer	Viewer	
API	API	
RoboServer	RoboServer	
Kapplet Administrator	Kapplet Administrator	
Kapplet User	Kapplet User	
Passsword Store Client	Passsword Store Client	
DAS Client User	DAS Client User	
VCS Service User	VCS Service User	
-	Process Discovery Client	10.7より新設

RPA Administratorsグループについて

RPA AdministratorsグループはManagementConsoleにデフォルトで作成されています。
10.7 より前のバージョンで作成されたバックアップを復元する場合、Administrator権限を持つユーザーは、RPA Administratorsグループのメンバーに自動で移行されます。
このグループに所属するユーザは、10.7以前のAdministrator権限と同等の権限を所有します。



【 10.4 】



【 10.7 】

自動で移行

プロジェクトのロールについて

プロジェクトに割り当てられる最上位の権限は、ProjectAdministrator権限に変更となります。

KOFAX RPA Management Console
バージョン 10.7.0.3 231

管理 > プロジェクト

プロジェクト	説明	詳細	削除	インポート
Default project	Default project automatically created			admin
kappletUser project				admin
PasswordStoreClient				admin
KappletAdministrator project				admin
Developer project				admin
Viewer project				admin
API project				admin

HA サーバー ノード

ノード ID	インターフェイス	ステータス	接続先
Node-1	/127.0.0.1:5701	実行中	true

Default project の編集

基本 権限 サービス リポジトリ

Default project で定義された権限

プロジェクトロール | セキュリティグループ

- Project Administrator
- Developer
- Viewer
- API
- RoboServer
- Kapplet Administrator
- Kapplet User
- Password Store client
- DAS Client User
- VCS Service User
- Process Discovery Client

保存 キャンセル

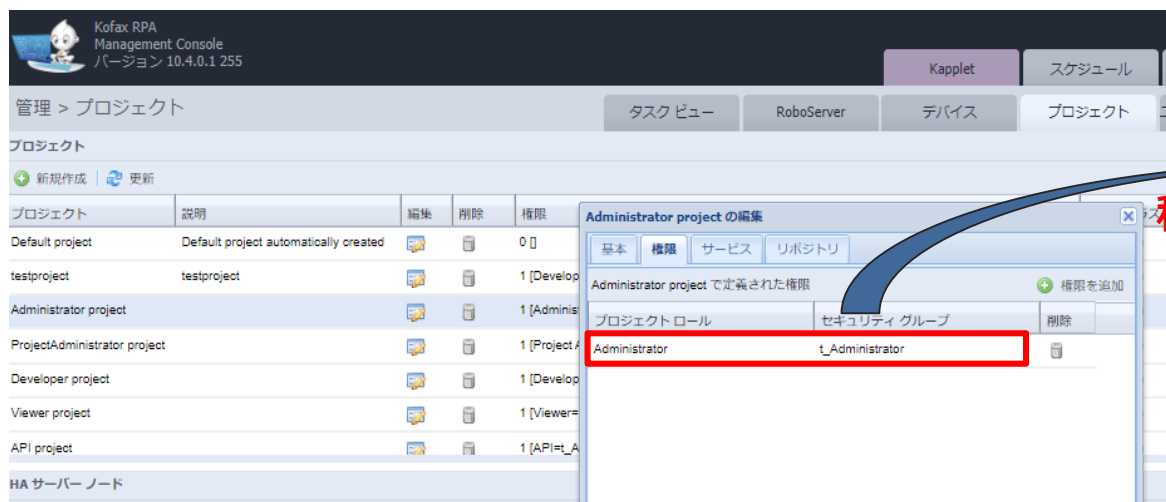
10.7以前で可能だった「Administrator」権限をプロジェクトへ割り当てることはできません。

10.7 より前のバージョンで作成されたバックアップを復元する場合の注意事項

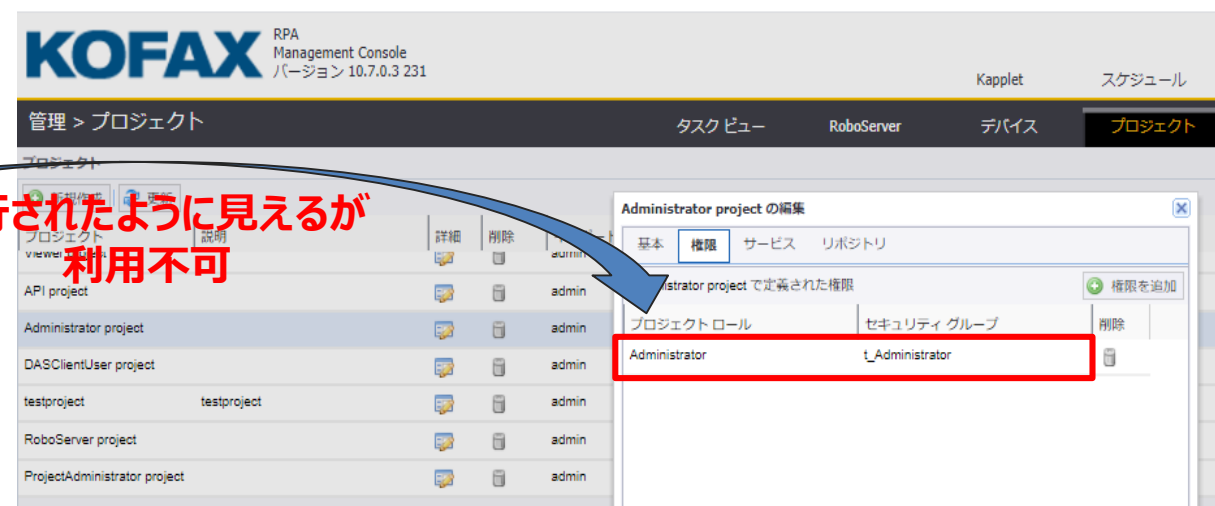
プロジェクトにAdministrator権限を割り当てていた場合は、移行後にロールの再割り当ての対応が必要です。

復元後のプロジェクトには、Administrator権限をグループに割り当てて移行されたように見えます（下図参照）この状態のまま利用するのは動作保証外(※)となりますので、移行後にロールの再割り当てを実施してください。
(※)Kofaxではこの動作は不具合として登録されています。

【 10.4 】



【 10.7 】



ProjectAdministrator権限の不具合修正

10.7以前のバージョンでは、ProjectAdministrator権限をあるグループに割り当てていた場合は、そのグループに所属しているユーザが所属していないプロジェクトの設定変更が可能となる不具合がありましたが、10.7では修正されました。

10.7では、ProjectAdministrator権限を持つユーザは、所属するプロジェクトのみに対しグループにロールを割り当てる権限があります。

【 ProjectAdministrator権限で所属しているプロジェクト】

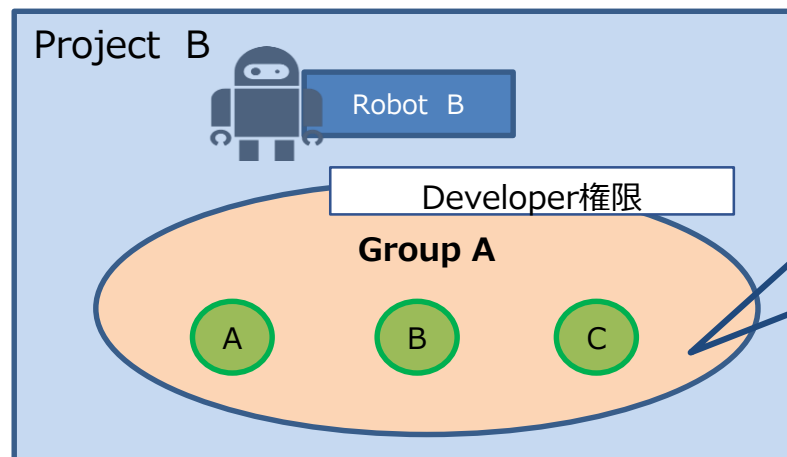
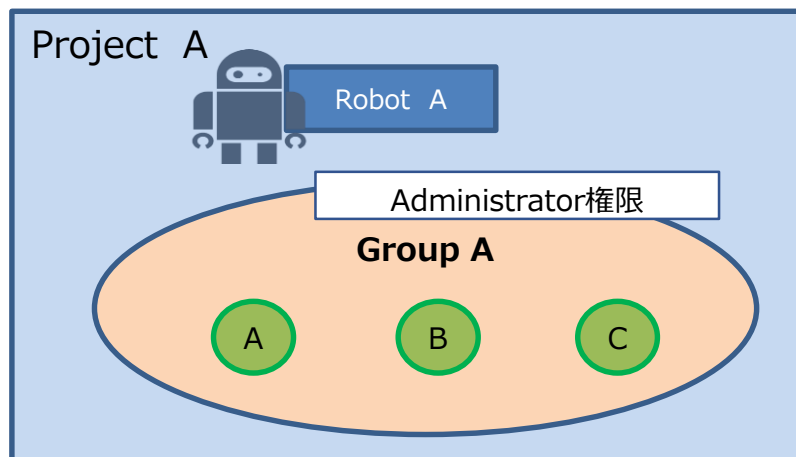


【 所属していないプロジェクト】



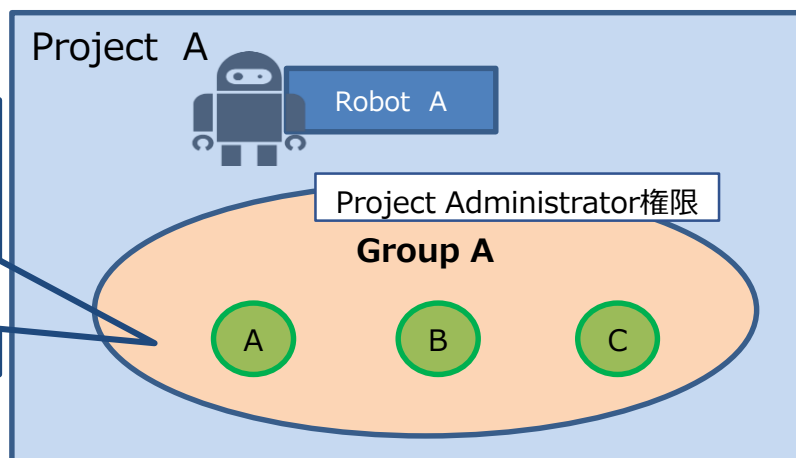
権限を設定する際の注意事項

10.7以前のバージョンでは、複数プロジェクトにそれぞれ別々の権限で同じグループが割当てられた場合、ユーザは上位権限の操作が可能となります。

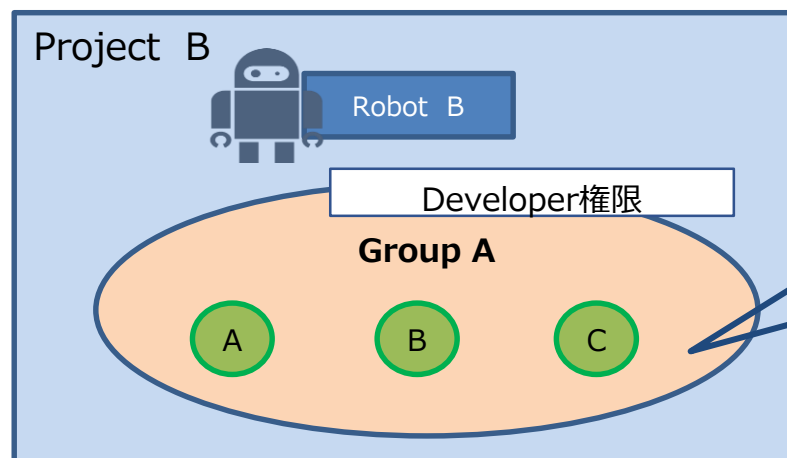


ユーザA、B、Cは、Project Bに対してDeveloper権限ではなく、**Administrator権限を持つ**

10.7では、プロジェクト毎に割り当てられた権限が反映されます。

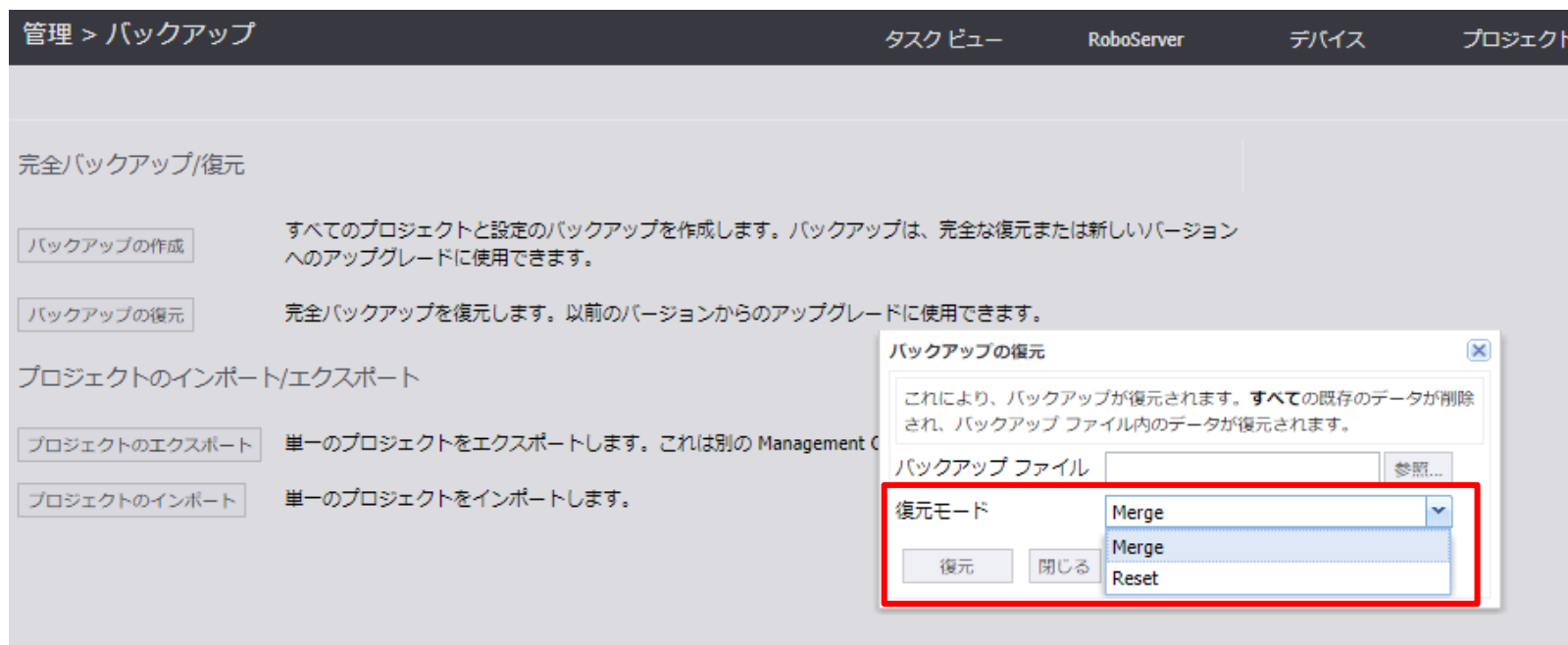


ユーザA、B、Cは、Project Aに対して**Project Administrator権限を持つ**



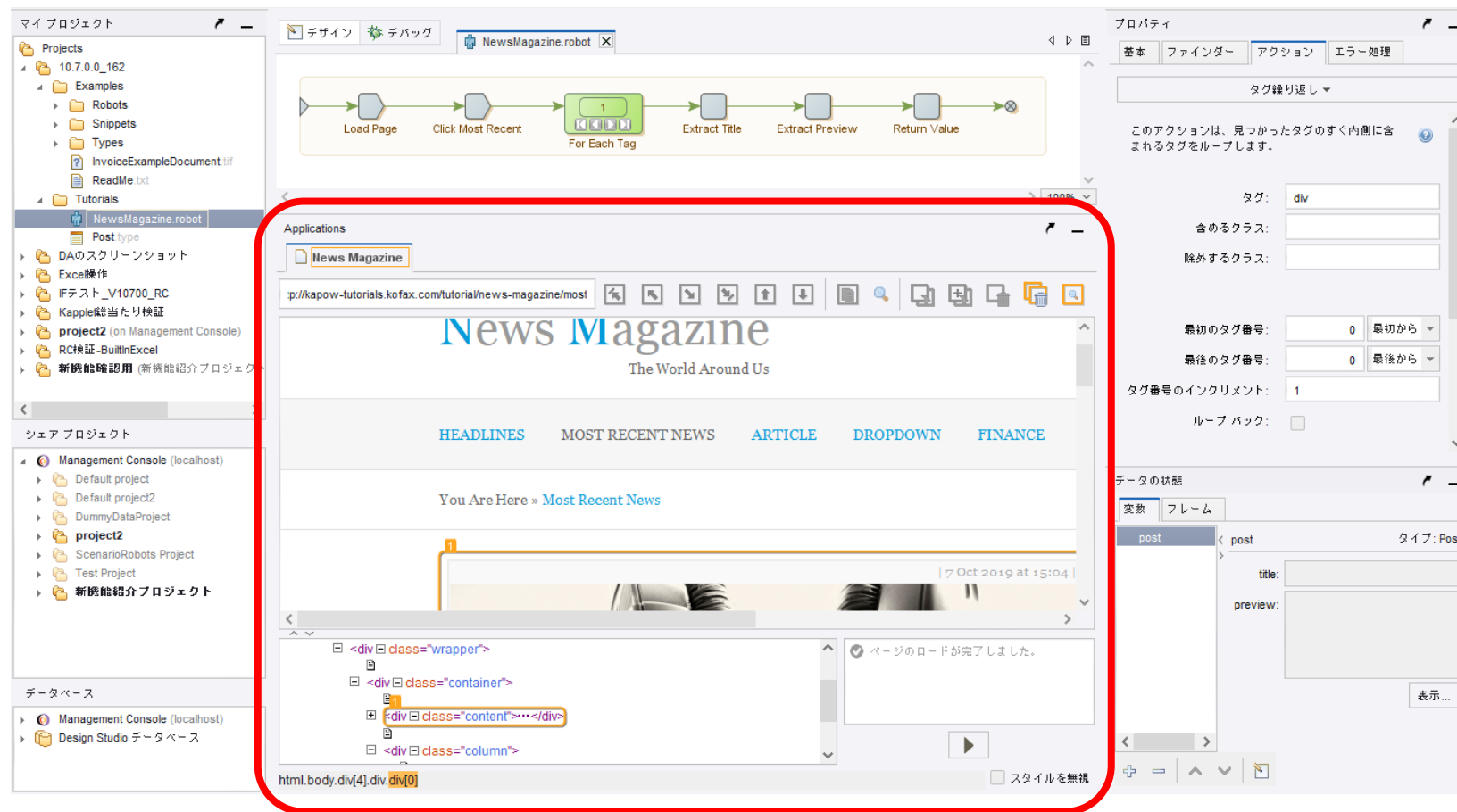
ユーザA、B、Cは、Project Bに対して**Developer権を持つ**

復元モードの選択が可能になりました。



復元モード	
Merge	「管理」タブの中の「設定」タブは、バックアップに不足している設定（バックアップの作成時に以前のバージョンに存在しなかった設定）は、カスタム値を保持します。それ以外の設定はバックアップファイルのデータで復元します
Reset	すべての設定をリセットして、バックアップファイルのデータを復元します

ウィンドウビュー、ツリービュー、および待機ビューを統合して「アプリケーション」ペインとしました。



DAでReplace Text（テキストの置き換え）ステップを追加した際、テキストボックスを選択した後にCtrl + Aで全選択した上で新しい文字列を入力する方法に変更されました。

The screenshot illustrates the configuration of the 'Replace Text' step in DA. The 'Click Left' step is highlighted with a red box, and the 'Press Key' step is also highlighted with a red box. The 'Press Key' step is configured with 'Standard Keys' set to 'A' and 'Ctrl' checked. The 'Input Text' step is configured with 'Text' set to '変更後テキスト'. A blue arrow points from the 'Replace Text' menu item to the 'Click Left' step. The bottom of the screenshot shows the '変更後テキスト' input field in a search bar.

- ログイン試行回数の上限值撤廃

「3回ログインに失敗した場合は10分間のログイン不可時間を設ける」という制限を撤廃しました。

※設定により上記制限を設けることも可能です。

- イメージファインダーの検索上限値変更

DAのイメージファインダーにて、検索するオブジェクトを3,000件までに制限しました。

3,000件検索してもファインダーにマッチする画像が見つからない場合は「not found」となります。

1. 新機能等について
2. 旧バージョンからの変更点について
- 3. 既知の事象について**

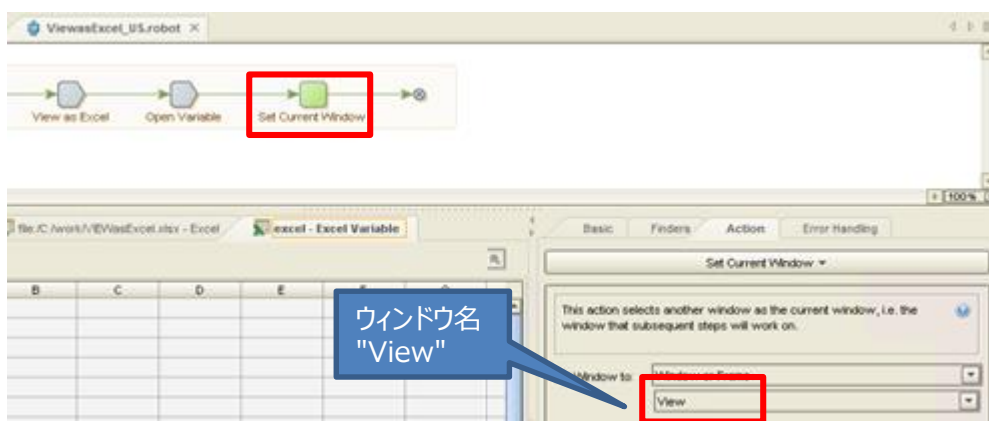
未解消事象があるものの、回避策適用によりの影響は軽微

10.7.0.4既知の事象について

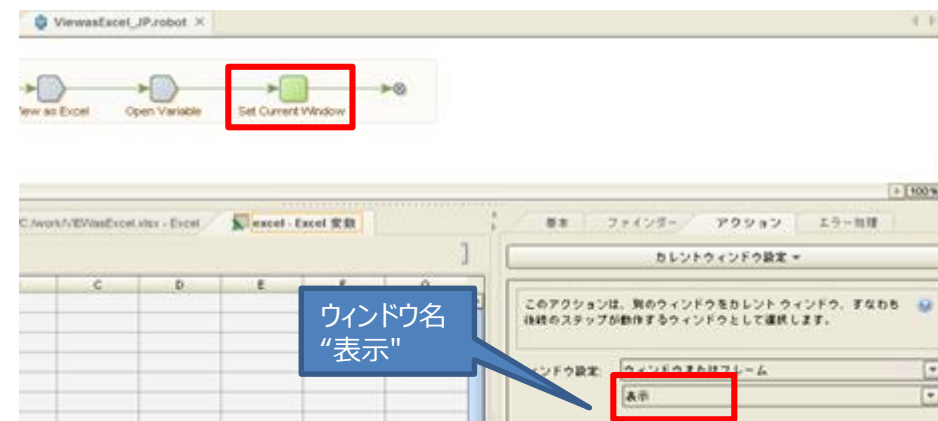
対象	事象	影響度	解消	回避策
DS① 10.2.0.3	移行元の利用言語が英語版である場合、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」ステップのウィンドウの名称が英語版では「View」、10.3以降の日本語版は「表示」となるためエラーになる。	小	未決	有り
DS① 10.3.0.7	移行元の利用言語が英語版である場合、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」ステップのウィンドウの名称が英語版では「View」、10.3以降の日本語版は「表示」となるためエラーになる。	小	未決	有り
DS① 10.4.0.1 10.4.0.2 10.4.0.4	移行元の利用言語が英語版である場合、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」ステップのウィンドウの名称が英語版では「View」、10.3以降の日本語版は「表示」となるためエラーになる。	小	未決	有り
DS	ステップの設定で、エクスペッション内の関数を表示した時に、表示される関数のリストが見切れており、画面の解像度にもよるが、画面に表示できていない関数のリストが存在する。	中	未決	無し
DA	10.3.2.1まで動いていたロボットのOpen Stepが10.4.0.4以降のバージョンで動かない。 Pathに使用している「¥」の変換の仕様が変更された。	中	未決	有り
MC	10.7.0.1、10.7.0.2および10.7.0.3で作成したフルバックアップのファイルで10.7.0.4でリストアすると、MC上でロボットの実行ができない。	小	未決	有り
MC	下位バージョンでプロジェクトにAdministrator権限のロールを割り当てたまま移行した場合、10.7.0.4ではプロジェクトにAdministrator権限の割り当てはできないにも関わらず移行されたように見える。 本動作は想定していない動作となっており、そのままでの利用は動作保証外となるため移行後にロールの再割り当てが必要となる。	中	未決	有り
MC	v10.3.xで作成したトリガーマッピング込みのフルバックアップファイルを10.7.0.4でリストアするとエラーとなる。	中	未決	有り

事象	原因
View As Excelに対して行ったカレントウィンドウ設定(Set Current Window)ステップにてエラー	<p>読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行った際に、「Set Current Window」ステップのウィンドウ名称が英語版では「View」、10.3以降の日本語版は「表示」となっているためエラーとなる。</p> <p>英語版ではView As Excelのウィンドウ名に「View」がデフォルトで設定される 10.3.x以降の日本語版ではView As Excelのウィンドウ名に「表示」がデフォルトで設定される</p>

DS英語版



DS日本語版

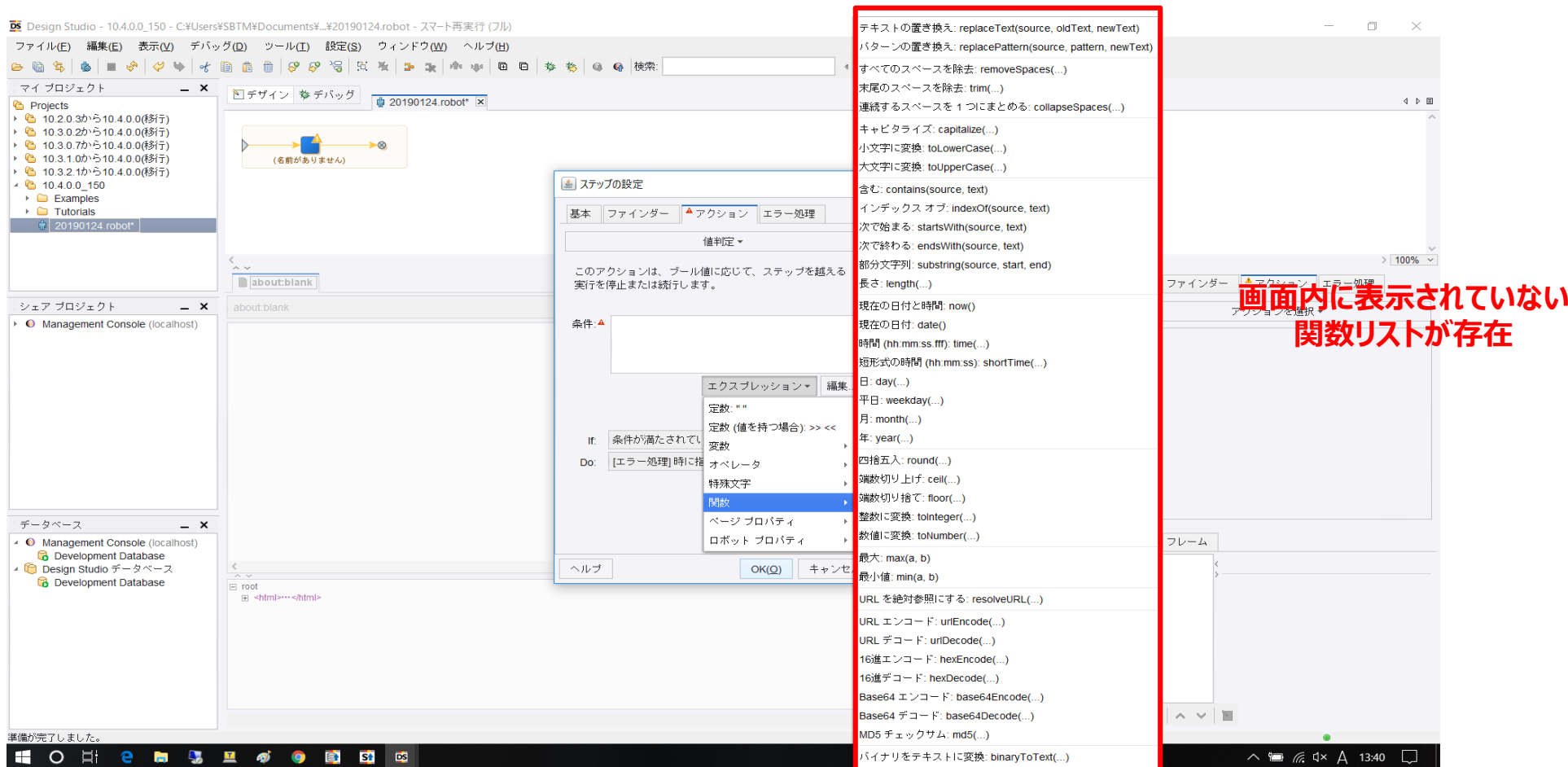


対処方法

ウィンドウ名のリストからウィンドウ番号を設定する。
例：「Window #2 (View)」または、「Window #2 (表示)」

事象

ステップの設定で、エクスプレッション内の関数を表示した時に、表示される関数のリストが見切れている。



対処方法

見切れている項目を見る方法はない。選択は、上下矢印キーで見えないリストを選択することにより可能

事象

10.3.2.1まで動いていたロボットのOpen Stepが10.4.0.4以降のバージョンで動かない。
Pathに使用している「¥」の変換の仕様が変更された。

The screenshot shows the Desktop Automation Editor interface. A workflow is visible with steps: Input, a step with a blue arrow pointing to it, メモ帳をクリック..., Guarded Choice, and Return. Below the workflow, a text box displays the file path: "C:¥¥Users¥¥Administrator¥¥Desktop¥¥DATEST.txt". Below this, the result is shown: Result = ""C:\Users\Administrator\Desktop\DATEST.txt"". A red text box explains: **ファイルパスに指定している「¥」の取り扱いが10.4.0.0から新しい制限として追加されており正常に処理できずエラーメッセージが表示されるようになった。** To the right, an error dialog box titled "実行を一時停止しました" (Execution temporarily stopped) is shown with the message: "エラーのため、実行は停止されました。 DeviceIssue がステップ: 'Open on vml' で発生しました。 Error executing command: missing) after argument list." The dialog has an OK button.

対処方法

ファイルパスを認識できる形式に修正することで対応可能

SoftBank
for Biz